

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド

本体の構成各部

周辺機器を利用する

アプリケーションの概要

トラブル解決Q&A

PC98-**NX** シリーズ

NetFine NX

NF30H/C

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

◆ 添付品の確認、本機の接続、OSのセットアップ

→『はじめにお読みください』

はじめ
にお読
みくだ
さい

◆ 本機を安全に使うための情報

→『安全にお使いいただくために』

安全にお
使いいた
だくた
めに

◆ Windowsの全般的な基礎知識、基本的な操作方法

[Windows 98インストールモデルの場合]

→『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』

またはWindows 98のヘルプの中にある、オンライン形式の
『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』



[Windows 95インストールモデルの場合]

→『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』



[Windows NT 4.0インストールモデルの場合]

→『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』



このマニュアルです

◆ 本機の各部の名称・機能・本機にインストール/添付されているアプリケーションの概要、トラブル解決方法

→『活用ガイド』



◆ ディスプレイのユーザーズマニュアル

→液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの利用方法が記載されたマニュアルがディスプレイに添付されています。

ユ
ー
ズ
マ
ニ
ュ
ア
ル

◆ ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介

→『メンテナンス&サポートのご案内』



◆ パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介

→『NEC PCあんしんサポートガイド』



別 売

◆ システム管理者のための情報

→『システム管理者ガイド』(PCNFN9810003)



Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザ、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>

はじめに

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなどWindowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作(ボタンクリックやドラッグなど)が一通りできることを前提に書かれています。

もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、本書をご利用になることをおすすめします。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX シリーズ NetFine NX

NF30H/C

**(Windows 98、Windows 95、または
Windows NT4.0インストールモデル)**

ディスプレイ、メモリ容量、ESMPROについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様が併せてお読みください。

尚、選択できる項目は、今後増える可能性があります。

型番と機能仕様についての詳細は、「PART6 付録」をご覧ください。

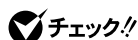
内容について、わからない場合は、まずNF30H/Cを導入・運用管理しているシステム管理者へご相談ください。

1998年11月 初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



トラブル事例を示します。

98...

Windows 98に特有の機能や操作について説明しています。

95...

Windows 95に特有の機能や操作について説明しています。

NT...

Windows NT4.0に特有の機能や操作について説明しています。

98/95

Windows 98およびWindows 95に特有の機能や操作について説明しています。

95/NT

Windows 95およびWindows NT4.0に特有の機能や操作について説明しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本機

次の機種を指します。

PC98-NX シリーズ NetFine NX

NF30H/C

(Windows 98、Windows 95、またはWindows NT4.0インストールモデル)

*本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については『はじめにお読みください』と「PART6 付録」をご覧ください。

本体

ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、NF30H/Cを指します。

ディスプレイ
セットモデル

CRTディスプレイまたは液晶ディスプレイとセットでご購入いただいたモデルです。

アプリケーションなしモデル	選択アプリケーション(ESMPRO)が無い状態でご購入いただいたモデルです。
ESMPROモデル	ESMPROクライアントライセンスが添付された状態でご購入いただいたモデルです。
Windows 98モデル	Windows 98がインストールされたモデルを指します。
Windows 95モデル	Windows 95がインストールされたモデルを指します。
Windows NTモデル	Windows NT4.0がインストールされたモデルを指します。
「スタート」ボタン→ 「設定」→「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルのタイトルを指します。
スタンバイ	Windows 98のスタンバイ状態を指します。 Windows 95およびWindows NTのサスペンド状態を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98/95/NT	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版および Microsoft® Windows® 95 Operating Systemおよび Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Ver- sion4.0
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT、 Windows NT4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Ver- sion4.0
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows 98/95	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版および Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 95/NT	Microsoft® Windows® 95 Operating Systemおよび Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Ver- sion4.0
Internet Explorer 4.01 IE 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95/Windows NT® 4.0日本語版
Internet Explorer 3.02 IE 3.02	Microsoft® Internet Explorer 3.02

RSA SecurPC	RSA SecurPC™ for Windows® 98/95 version1.1.3J
ESMPROクライアント ライセンス	ESMPRO/ClientManager Ver2.0/Ver2.1, DeliveryManager Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(ライセンスFD)

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

また、特に記載のない場合は、Windows 98の画面を使用しています。

■電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人日本電子工業振興会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

■高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNEC/パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 98、Windows 95、Windows NTおよび本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみにご適用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows 98、Windows 95、Windows NT、NetMeeting、Outlook、およびWindows、Windows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

CeleronはIntel Corporationの商標です。

VirusScanは、米国Network Associates社及び関連会社の商標または登録商標です。

RageIIは、ATI Technologies, Inc.の商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などをおこなうことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はおこなっておりません。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

外付けの周辺機器の概要について説明します。

PART3 アプリケーションの概要（Windows 98/95 モデルの場合）

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションソフトウェアを使うとどんなことができるかを説明しています。

PART4 アプリケーションの概要（Windows NT4.0 モデルの場合）

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションソフトウェアを使うとどんなことができるかを説明しています。

PART5 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

PART6 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	vi
このマニュアルの構成	vii
目次(このページです)	viii
索引	xiv

本体の構成各部 1

各部の名称	2
本体正面	2
本体背面	5
電源	9
電源の状態と操作方法	10
電源の管理について (APMモード/ACPIモード)	14
電源の入れ方/切り方 (電源の手動操作)	15
電源の手動操作	20
電源の自動操作	24
キーボード	26
添付されるキーボードの種類	26
角度調整	26
USB109キーボードおよびPS/2 109キーボード	27
USB小型キーボード	29
アプリケーションキーとWindowsキーについて	32
日本語入力	33
設定を変更する	34
使用上の注意	35
USB接続キーボードの使用上の注意	36
マウス	37
マウスについて	37
設定を変更する	39
ディスプレイ	40
表示できる解像度と表示色について	40
ディスプレイの表示の設定を変更する	41
適合するディスプレイを使う	42

PART

2

PART

3

ハードディスクドライブ	44
ドライブ番号の割り当て	44
スキャンディスクの操作手順	45
エラーチェックの操作手順	46
デフラグの操作手順	47
使用上の注意	48
サウンド機能	50
音量の調節	50
LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード	52
LAN(ローカルエリアネットワーク)への接続	52
ヘルプの表示方法	53
特定の操作手順についてのヘルプ	53
設定項目のヘルプ (画面に表示されている項目についてのヘルプ)	54

周辺機器を利用する 55

接続できる周辺機器	56
本体正面	56
本体背面	56

アプリケーションの概要 (Windows 98/95モデルの場合) 57

この章の構成	58
ヘルプについて	58
概要について	58
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	59
RSA SecurPC	60
概要	60
VirusScan	61
概要	61
DMITool	66
概要	66
pcANYWHERE32 EX	68

概要	68
Masty Data Backup	69
概要	69
CyberTrio-NX	70
概要	70
各モード間の移行方法	71
各モードの注意事項	72
パスワードの設定方法	73
ベーシックモードの利用範囲	73
カスタムモードの利用範囲	73
CyberWarner-NX.....	74
概要	74
CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法	74
CyberWarner-NXを終了する方法	74
ログファイルの表示	75
ログ対象ファイルの説明.....	76
Timer-NX	78
概要	78
タイマ機能	79
オフタイマ機能	83
NEC Soft MPEG1.0	84
概要	84
プレーヤ-NX	86
概要	86
文豪DP/LANシリーズコンバータ	88
概要	88
Acrobat Reader.....	89
概要	89
英語モードフォントを使用する	90
日本語モードフォント、英語モードフォントについて	90
液晶ディスプレイ調整ツール	91
概要	91

アプリケーションの概要 (Windows NT4.0モデルの場合) 93

この章の構成	94
ヘルプについて	94
概要について	94
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	95
Internet Explorer 4.01	96
概要	96
インターネットエクスプローラ関連プログラム	97
Microsoft Chat 2.1	97
Microsoft NetShow プレーヤー	97
Real Player 4.0	97
Outlook Express (Mail & News)	98
概要	98
Microsoft NetMeeting	99
概要	99
Internet Explorer 3.02	100
概要	100
VirusScan for Windows NT	101
概要	101
DMITool	104
概要	104
pcANYWHERE32 EX	105
概要	105
Masty Data Backup	106
概要	106
CyberTrio-NX	107
概要	107
各モード間の移行方法	108
各モードの注意事項	108
ベーシックモードの利用範囲	109
カスタムモードの利用範囲	109

Timer-NX	110
概要	110
タイマ機能の設定を行う	112
オートログオンの設定を行う	115
オフタイマ機能の設定を行う	117
NEC Soft MPEG1.0	118
概要	118
文豪DP/LANシリーズコンバータ	120
概要	120
Acrobat Reader	122
概要	122
液晶ディスプレイ調整ツール	123
概要	123
トラブル解決 Q&A	125
トラブルが起きたとき	126
トラブルを解決するには(ヒント)	127
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	129
はじめて電源を入れたら…	131
電源を入れたが…	133
電源を切ろうとしたが…	137
スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能を使おうとしたら… ..	139
パソコンがこわれそう…	141
画面がおかしい…	143
画面の設定を変えようとしたら…(Windows 98/95モデル)	144
ファイル、フォルダがおかしい…	149
マウスを動かしても…	153
文字を入力しようとしたら…	157
ファイルを保存しようとしたら…	160
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら…	161
印刷しようとしたら…	163
ハードディスクを使っていたら…	165
アプリケーションを使っていたら…	170

PART

6

タイマ機能を使おうとしたら…	176
日付の設定を変えようとしたら…	177
コンピュータウイルス対策について	178
その他	181
トラブルを予防するには…	183

付 録	185
-----	-----

機能一覧	186
型番の読み方と機能仕様	186
仕様一覧	188
本機のお手入れ	190
マウスのクリーニング	191

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。

ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

- 「_」(アンダースコア、
アンダーバー) 158
- 「~」(チルダ) 158
- 100BASE-TX 52
- 100BASE-TX/10BASE-T用コネクタ 6
- 10BASE-T 52
- 1Gバイト 49
- 1Mバイト 49
- 98AP情報 171
- ACPIモード 15
- Acrobat Reader 89, 122
- AC電源コネクタ 6
- APMモード 14
- Caps Lock 29, 31, 158
- Caps Lockランプ 27, 29
- CPU 186
- CyberTrio-NX 70, 107
- CyberWarner-NX 74
- DMITOOOL 66, 104
- DMTF 66, 104
- DV15A1 186
- DV17B1 186
- F14S1W 186
- F14T2H 186
- F15S1W 186
- F15T1 186
- F18S1W 186
- HUB 52
- Internet Explorer 3.02 100
- Internet Explorer 4.01 96
- Invalid system disk Replace the disk...
..... 132
- LAN(ローカルエリアネットワーク)
..... 52
- LANボード 6
- Masty Data Backup 69, 106
- Microsoft Chat 2.1 97
- Microsoft NetMeeting 99
- Microsoft NetShow プレーヤー 97
- MIFブラウザ 66, 104
- MPEG1 84, 118
- MS-IME97 33, 172
- MS-IME98 33, 172
- NEC Soft MPEG1.0 84, 118
- NF30H/C 188
- Num Lock 29, 31
- Num Lockランプ 27, 29
- Nキーロールオーバー 35

Outlook Express (Mail & News)	98
pcANYWHERE32 EX	68, 105
PK-CA101	7
PK-CA102	7
PS/2接続キーボードコネクタ	8
PS/2接続マウスコネクタ	8
Real Player 4.0	97
RSA SecurPC	60
Scroll Lock	29, 31
Scroll Lockランプ	27, 29
Soft MPEG1.0	84, 85, 118, 119
Timer-NX	78, 110, 176
USBコネクタ	4, 6
USBハブ	36
VirusScan	61
VirusScan for Windows NT	101
Windowsキー	27, 30, 32
WWW Extension	66, 104

ア行

アース端子	7
熱い	141
アドバンスモード	70, 107
アナログRGBコネクタ	7
アプリケーションキー	27, 30
アンダースコア、アンダーバー	158
異臭	141
異常な音	141
インサートキー	28, 30
印刷	163

ウイルス	178
ウィンドウアクセラレータ	40
英語モードフォント	90
液晶ディスプレイ	40
液晶ディスプレイ調整ツール	91, 123
エスケープキー	27, 30
エラーチェック	44
エンターキー	27, 30
エンドキー	28, 30
オフタイマ	83, 117
オルトキー	27, 30
音量の調節	50

カ行

カーソル移動キー	28, 30
解像度	146
拡張子	151
角度調整	26
カスタムモード	70, 107
カタカナひらがな/ローマ字キー	27, 30
型番	186
画面の色	134
カレンダー時計	177
キーボード	26
キーロールオーバー	35
キャプスロック/英数キー	27, 30
強制終了の方法	154
強制的に電源を切る	17
煙	141
ごみ箱	166

コントロールキー	27, 30
コンピュータウイルス	178

サ行

サウンド機能	50
サスペンド状態	12, 13
システムビューア	66, 104
シフトキー	27, 30
シャットダウン	18
シリアルコネクタ	7
仕様一覧	188
状態監視	66, 104
省電力機能	144
スキップセクタ	48
スキャンディスク	44
スクロールロックキー	27, 30
スタンバイ状態	10, 13
スペースキー	27, 30
スリープボタン	3
西暦2000年問題	181
セキュリティロック	7
セットアップ	131

タ行

タイマ	24, 25
タイマ機能	112
正しい電源の切りかた	137
タブキー	27, 30
チルダ	158
ディスククリーンアップ	183

ディスプレイ	40
デフラグ	47
デリートキー	28, 30
テンキー	136
電源	9
電源スイッチ	3
電源ランプ	3
電子メール	98
盗難防止	7
ドライブ番号	44
トラブルチェックシート	129

ナ行

内蔵LANボード機能仕様	189
内蔵スピーカボリューム	4, 50
日本語入力	33, 158
ニューメリックロックキー	28, 30

ハ行

ハードディスクドライブ	44
パスワード	136
バックアップ	48
バックスペースキー	27, 30
パラレルコネクタ	7
パワーマネジメント機能	144
半角/全角/漢字キー	27, 30
ファイル	149
ファイル名	150
ファンクションキー	27, 30
フォルダ	149

復帰	11
フリーズ	127
不良セクタ	48
プリンタインターフェース変換アダプタ	7
プリントスクリーンキー	27, 30
フルスクリーン	143
プレーヤ-NX	86
文豪DP/LANシリーズコンバータ ...	88, 120
ページアップキー	28, 30
ページダウンキー	28, 30
ベーシックモード	70, 107
ヘッドホン端子	4
ヘルプ	53
変換キー	27, 30
ポーズ/ブレイクキー	27, 30
ホームキー	28, 30
ボリュームコントロール	51
本機のお手入れ	190
本体機能仕様	188

マ行

マイクロホン端子	6
マウス	37
マルチポートリピータ	52
ミニジャック	6
無変換キー	27, 30
メモリ	170
メンテナンス	183
文字コード表	159

ラ行

ライン出力端子	6
ライン入力端子	6
リモート電源制御	66, 104
リモートパワーオン	25, 66, 104

本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明します。

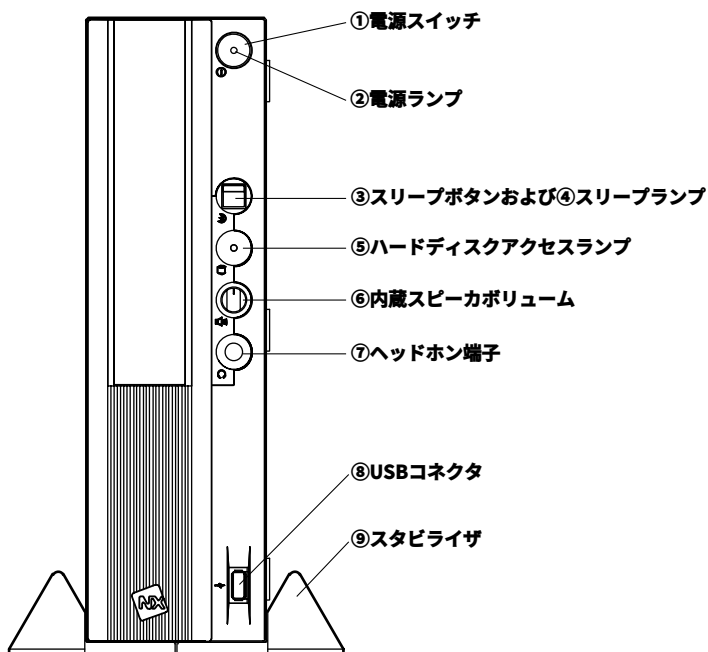
この章の内容

各部の名称	2
電源	9
キーボード	26
マウス	37
ディスプレイ	40
ハードディスクドライブ	44
サウンド機能	50
LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード	52
ヘルプの表示方法	53

各部の名称

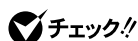
ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページをご覧ください。

本体正面



① 電源スイッチ(①)

本体の電源を入れたり、切ったりするスイッチです。また、本機がスタンバイ(サスペンド)状態のときに電源スイッチを押すとスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)します。ただしこの場合、電源スイッチを4秒以上続けて押さないでください。本機の電源が強制的に切られ、保存していないデータは破棄されています。



チェック!!

電源スイッチを入れたり、切ったりする操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。→「電源」(P.9)

② 電源ランプ(②)

電源の状態を表示するランプです。電源が入ると点灯します。

電源の状態	電源ランプ
入っている	緑
切れている	消灯
スタンバイ(サスペンド)	黄

③ スリープボタン(③)

本機での作業を一時中断する際に、電力消費の少ないスタンバイ(サスペンド)状態に切り替えます→「電源」(P.9)

④ スリープランプ

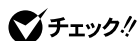
スタンバイ状態(Windows 98)およびサスペンド状態(Windows 95/NT)のときに点灯します。

電源の状態	スリープランプ
入っている	消灯
切れている	消灯
スタンバイ(サスペンド)	橙

⑤ ハードディスクアクセスランプ()

ハードディスクドライブが動作しているときに点灯します。

→「ハードディスクドライブ」(P.44)



チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

⑥ 内蔵スピーカボリューム()

内蔵スピーカ、またはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。→「サウンド機能」(P.50)

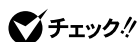
⑦ ヘッドホン端子()

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると内蔵スピーカからの音声は出なくなります。

⑧ USBコネクタ()

USB機器を接続します。

NT... NEC製のUSB接続のキーボード、および液晶ディスプレイセットモデルを選択された場合の、液晶ディスプレイのHUBを利用できます。→「キーボード」(P.26)

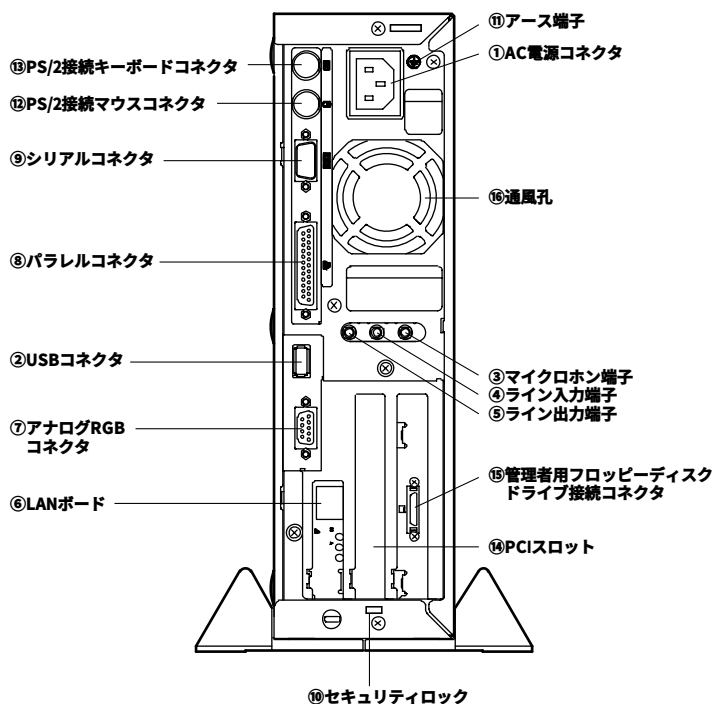


チェック!!

Windows 95またはWindows NTでご使用の場合、電源の入った状態でキーボードの抜き差しをすると、キー入力ができなくなります。

⑨ スタビライザ

本体を安定させるための脚です。



① AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。添付の電源ケーブルを接続します。

② USBコネクタ(USB)

USB機器を接続します。添付のキーボード等を接続

→「キーボード」(P.26)

NEC製のUSB接続のキーボードおよび液晶ディスプレイセットモデルを選択された場合の液晶ディスプレイのHUBをご利用できます。



チェック!!

Windows 95またはWindows NTで、ご使用の場合、電源の入った状態でキーボードの抜き差しをすると、キー入力ができなくなります。

③ マイクロホン端子(ミニジャック)(MIC)

市販のマイクロホンを接続します。

④ ライン入力端子(ミニジャック)(LINE IN)

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

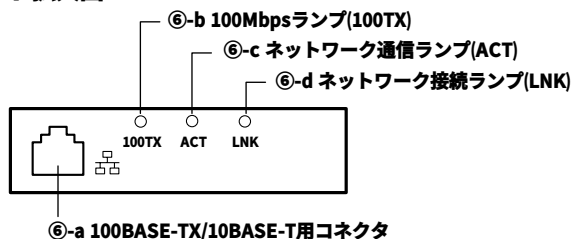
⑤ ライン出力端子(ミニジャック)(LINE OUT)

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

⑥ LANボード(网卡)

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するためのボードが内蔵されています。→「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」(P.52)

LANボード拡大図



⑥-a 100BASE-TX/10BASE-T用コネクタ(网卡)

100BASE-TX/10BASE-Tのケーブルを接続します。

⑥-b 100Mbpsランプ(100TX)

100Mbpsでネットワークに接続されているときに点灯します。

⑥-c ネットワーク通信ランプ(ACT)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点灯します。
ただし、必ずしも本機の実読み込み/書き込みとは限りません。

⑥-d ネットワーク接続ランプ(LNK)

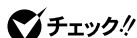
ハブ(マルチポートリピータなど)からリンクパルスを受信すると点灯します。

⑦ アナログRGBコネクタ()

ディスプレイを接続します。→「ディスプレイ」(P.40)

⑧ パラレルコネクタ()

プリンタなどの機器を接続します。

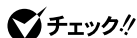


チェック!

- ・PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインターフェイス変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
- ・パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

⑨ シリアルコネクタ()

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。



チェック!

- ・PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

⑩ セキュリティロック()

盗難防止用の鍵を取り付けることにより、筐体の開閉を防止、装置自体の盗難を防止することができます。

⑪ アース端子()

アース線を接続します。

⑫ PS/2接続マウスコネクタ (⌂)

PS/2接続キーボードを利用する場合に、PS/2接続マウスを接続します。

⑬ PS/2接続キーボードコネクタ (⌂)

PS/2接続キーボードを接続します。

⑭ PCIスロット

本体の機能を強化したり、拡張するための、各種ボードを挿入するスロットです。

⑮ 管理者用フロッピーディスクドライブ接続コネクタ

別売のフロッピーディスクドライブ(管理者用FDドライブキット:PC-NF-U001)を接続することができます。なお、接続には別売の接続ケーブル(管理者用FDドライブキット接続ケーブル:PC-NF-U002)が必要となります。

フロッピーディスクドライブの使用については、システム管理者にご相談ください。

⑯ 通風孔

本体内部の熱を逃すための通風孔です。壁などでふさがないように注意してください。

電源

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機が壊れてしまうことがあるので、特に注意してください。

メモ

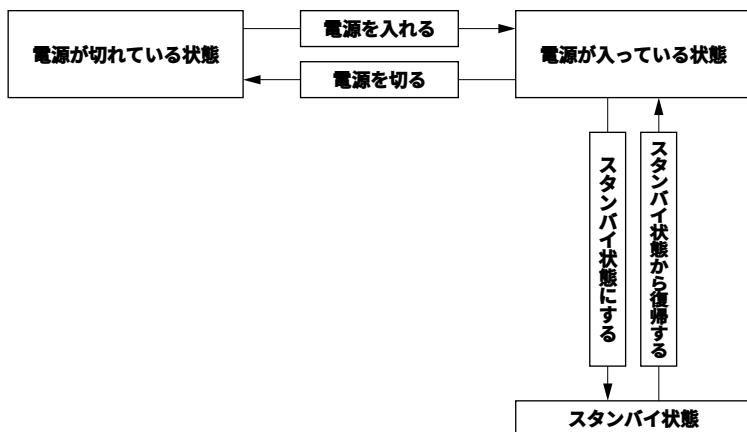
Windows 98において使用できる省電力機能のうち、「スタンバイ状態にする/スタンバイ状態から復帰する」と呼ばれている機能のことを、Windows 95およびWindows NTにおいては「サスペンド/レジューム」と呼びます。

Windows 98モデルの場合	Windows 95/NTモデルの場合
スタンバイ状態にする	サスペンド
スタンバイ状態から復帰する	レジューム

電源の状態と操作方法

98... 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」「電源が入っている状態」「スタンバイ状態」の3つの状態があります。



●電源が切れている状態

Windowsを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

●電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

●スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブのモータを停止するなどして消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されているため、スタンバイ状態から復帰させるときは素早く元の状態に戻すことができます。

電源の状態により、ランプとディスプレイの表示は、次のようになります。

電源の状態	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯※
スタンバイ	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯※

※ 使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。



チェック!!

・工場出荷時の状態では、マウスやキーボードからの入力がない状態が約15分間続いた場合に、自動的にディスプレイの電源を切るように設定されています。自動的に電源が切られたディスプレイを再表示する場合や、スタンバイ状態から復帰させるには、マウスを動かすか、キーボードのキーを押してください。設定を変更するには、Windowsのヘルプをご覧ください。

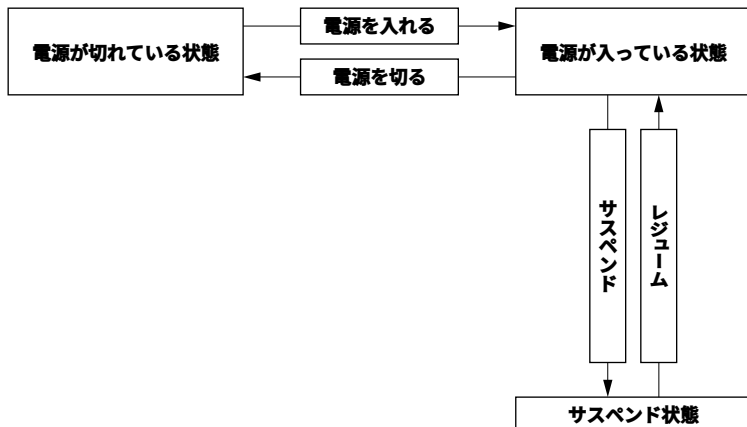


用語 スタンバイ状態からの復帰

手動/自動操作によってスタンバイ状態にした本体を電源が入った状態に復帰することをいいます。Windowsを起動し直す必要がないので、素早く作業を再開できます。

95/NT 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」「電源が入っている状態」「サスペンド状態」の3つの状態があります。



●電源が切れている状態

Windowsを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

●電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

●サスペンド状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブのモータを停止するなどして消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されているため、サスペンド状態から復帰させるときは素早く元の状態に戻すことができます。

電源の状態により、ランプとディスプレイの表示は、次のようになります。

電源の状態	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯※
サスペンド	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯※

※使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

用語 サスペンド

CPUのクロックを下げ、内蔵ハードディスクのモータを止めて、ディスプレイを省電力の状態にし、本機の主要な部分への電源供給を停止します。

用語 レジューム

サスペンド状態から復帰することをレジュームと呼びます。Windows 95/NTを起動し直す必要がないので、素早く作業を再開することができます。

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。

●電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する ※
LANによるリモートパワーオン機能を利用する ※

●電源を切る

98/95

電源の操作方法
Windowsの終了メニューから「電源を切れる状態にする」を選び「OK」ボタンを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する
電源スイッチを押した後「OK」ボタンを選択

NT...

電源の操作方法
「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックし、「シャットダウンする」を選び「OK」ボタンを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する
電源スイッチを押した後「OK」ボタンを選択

●スタンバイ(サスペンド)状態にする

98...

電源の操作方法
スリープボタンを押す
Windowsの終了メニューから「スタンバイ」を選び「OK」ボタンを押す
「コントロールパネル」→「電源の管理」の「電源設定」で設定する
Timer-NXを利用する
BIOSセットアップメニューで設定する

95/NT

電源の操作方法
スリープボタンを押す
Timer-NXを利用する(Windows 95モデルのみ)
BIOSセットアップメニューで設定する

●スタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)させる

98/95

電源の操作方法
スリープボタンを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す(USB接続キーボード/マウスのみ)
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する ※
電源スイッチを押す

●レジュームする

NT...

スリープボタンを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す（USB接続マウス/キーボードのみ）
電源スイッチを押す

※ Windows 98モデルでは、ACPIモードを使うことができますが、本機の電源がACPIモードで管理されている場合は、Timer-NXおよびLANによるリモートパワーオン機能によって電源を入れることはできません。APMモードでのみ使用できます。



チェック!!

- ・スタンバイ(サスペンド)状態では、ネットワーク機能がいったん停止します。従って、ネットワークを使用するアプリケーションによっては、スタンバイ(サスペンド)状態になったときに、データが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを実行する場合は、システム管理者に確認のうえ、スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能を使用してください。
- ・Windows 98モデルの場合、ネットワークの設定がTCP/IPでDHCPサーバーを使用する設定になっていると、起動時やスタンバイ状態からの復帰の際に、通常より20秒ほど時間がかかることがあります。このような場合は、「PART5トラブル解決Q&A」の「電源を入れたが…」(P.133)をご覧ください。

電源の管理について(APMモード/ACPIモード)

本機で電力を節約する機能を使うためには、電源管理モードを使います。電源管理モードには、APMモードとACPIモードの2つのモードがあります。

Windows 98モデルでは、APMモードとACPIモードの2つのモードを使うことができます。

Windows 95モデルおよびWindows NTモデルでは、APMモードのみを使うことができます。

Windows 98のご使用にあたって、電源管理モードの確認や切り替えが必要な場合は、システム管理者にご相談ください。



用語 APMモード

APM(Advanced Power Management)を使って電源の管理を行うモードです。APMとはパソコンや周辺機器の電源の管理を、BIOSやデバイスドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみです。本機は工場出荷時の状態では、このAPMモードに設定されています。

用語 ACPIモード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って電源の管理を行うモードです。ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源の管理をOSで行うためのしくみで、Windows 98で実現できるようになりました。

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)**電源を入れる**

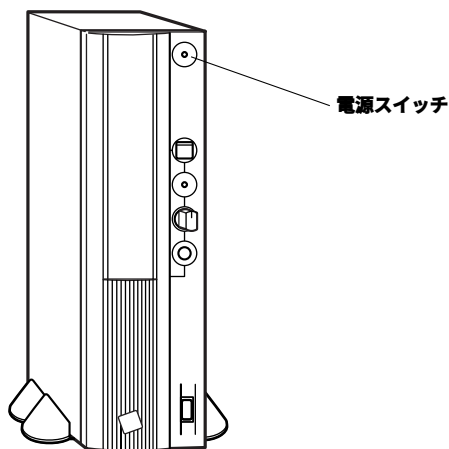
1 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる

2 本体の電源スイッチを押す

メモ

一部の周辺機器では、本体より先に電源を入れないと正しく認識されないことがあります。

チェック!! プリンタの電源は本体の電源より後で入れてください。



98/95 電源を切る

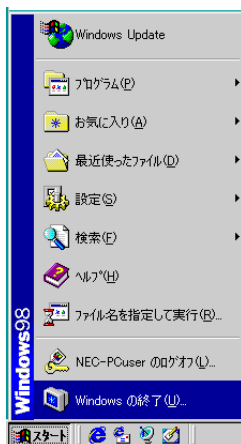


チェック!!

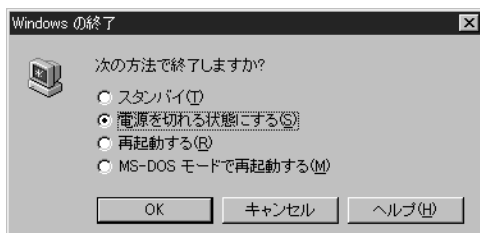
- ・電源投入後、Windows 98/95の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。
- ・プリンタの電源は本体の電源より先に切ってください。

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック



3 「電源を切れる状態にする」をクリック



4 「OK」ボタンをクリック

本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れます。

5 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

メモ

誤って電源を切ってしまうことがないように、本機では電源スイッチを押してもすぐには電源が切れないようになっています。ソフトウェアのエラーなどで、Windows 98/95の操作ができなくなってしまった場合は、まず【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションの強制終了ができるかどうかを試してください。この方法でアプリケーションを強制終了できない場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることによって、強制的に電源を切ることができます。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直して、Windows 98/95を起動させ、再度、正常な方法で電源を切ってください。

メモ

電源スイッチを押して電源を切る方法

- ・ APMモード(工場出荷時の状態)のときは、作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する。→電源スイッチを押す→「Windowsを終了します。よろしいですか? OK/キャンセル」→「OK」ボタンをクリック→自動的に電源が切れます。
- ・ ACPIモード(Windows 98モデルのみ対応)のときは、電源スイッチを押すと、正常に電源が切れます。なお、Windows 98モデルは、電源スイッチに割り当てる機能を「コントロールパネル」→「電源の管理」→「詳細」タブの「電源ボタン」で変更できます。

NT... 電源を切る



チェック!!

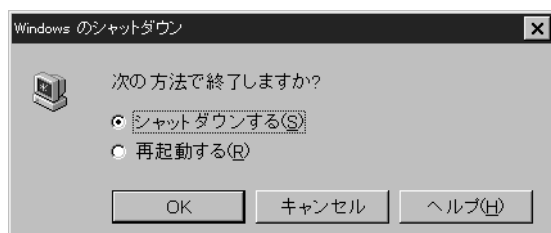
- 電源投入後、Windows NT4.0の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。
- プリンタの電源は本体の電源より先に切ってください。

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリック



3 「シャットダウンする」をクリック



4 「OK」ボタンをクリック

本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れます。

電源スイッチを押さないでください。



チェック!

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ソフトウェア電源断」の「全般」タブで、「シャットダウン後の自動電源断を有効にする」をクリックして ☐ (チェックオフ)にした場合は、「コンピュータのシャットダウン」の画面が表示されますので、電源スイッチを押して電源を切ってください。

5 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る



電源スイッチを押して電源を切る方法

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ソフトウェア電源断」の「サービス」タブで「終了確認ダイアログを表示する」をクリックして ☒ (チェックオン)にする→電源スイッチを押すと、本体の電源が自動的に切れます。



誤って電源を切ってしまうことがないように、本機では電源スイッチを押してもすぐには電源が切れないようになっています。ソフトウェアのエラーなどで、Windows NT 4.0の操作ができなくなってしまった場合は、まず【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押し、「Windows NTのセキュリティ」を表示させて、ここからシャットダウンができるかどうかを試してください。この方法でシャットダウンできない場合は、電源スイッチを約4秒押し続けることによって、強制的に電源を切ることができます。なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直して、Windows NT 4.0を起動させ、再度、正常な方法で電源を切ってください。

電源の手動操作

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ(サスペンド)状態にすることによって電力の消費を節約することができます。

メモ

Windows 98において使用できる省電力機能のうち、「スタンバイ状態にする/スタンバイ状態から復帰する」と呼ばれている機能のことを、Windows 95およびWindows NTにおいては「サスペンド/レジューム」と呼びます。

スタンバイ(サスペンド)状態にする

電源が入っている状態から、手動でスタンバイ(サスペンド)状態にするには、次の方法があります。

- ✓**チェック!!** スリープボタンを押しながら電源スイッチを押すと、スタンバイ状態(サスペンド)にならずに電源が切れます。

[Windows 98モデルの場合]

スリープボタンを押す、または「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「スタンバイ」を選択し「OK」ボタンをクリック

[Windows 95モデルの場合]

スリープボタンを押す、または「スタート」ボタン→「サスペンド」をクリック

ただし、工場出荷時の状態では、スタートメニューに「サスペンド」の表示はされていないので、以下の手順に従って、スタートメニューに「サスペンド」が表示されるように設定してください。

● スタートメニューに「サスペンド」の表示をさせる

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」をダブルクリック
- 2 「詳細」ボタンをクリックし、「詳細のプロパティ」の画面の「スタート」メニューの「サスペンド」コマンドの表示にチェックを付ける

3 Windows 95を再起動する

スタートメニューに「サスペンド」が表示されるようになります。

[Windows NTモデルの場合]

スリープボタンを押す

サスペンド状態になります。

スタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)する

スタンバイ(サスペンド)状態から、手動で、電源が入っている状態に復帰するには、次の3通りの方法があります。

✔ **チェック!!** スタンバイ状態から、元の状態に復帰するときは、本機に負担がかかることを避けるため、スリープランプが点灯してから少なくとも5秒以上待ってから操作してください。

① スリープボタンを押す

✔ **チェック!!** スリープボタンでスタンバイ/スタンバイからの復帰をする場合は、次の設定が必要になります。

BIOSセットアップメニューの「省電力管理」の「スリープボタン」が「オン」になっている。

② マウスを動かすか、キーボードのキーを押す

✔ **チェック!!**

- ・ Windows NTモデルでPS/2接続キーボードを使用している場合は機能しません。
- ・ マウスやキーボードでスタンバイ状態から復帰させる場合は、BIOSセットアップメニューの「省電力管理」の「入力装置によるレジューム」を「オン」にしてください。

③ 電源スイッチを押す

マウスやキーボード、スリープボタンを押してもスタンバイ状態から復帰しない場合に押してください。

スタンバイ機能(サスペンド/レジューム)を使用するときの注意

スタンバイ機能(サスペンド/レジューム)を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、スタンバイ(サスペンド)状態にするときに保存された作業中のデータが失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

●スタンバイ機能(サスペンド/レジューム)が使用できないとき

- ・使用するアプリケーションソフトによっては、スタンバイ状態からの復帰(レジューム)ができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションソフトの使用時には、スタンバイ機能(サスペンド/レジューム)を使用しないでください。
- ・使用する周辺機器によっては、スタンバイ状態からの復帰(レジューム)ができないことがあります。
- ・システム変更作業(ドライバの設定や、プリンタの追加など)の途中でスタンバイ(サスペンド)状態になった場合には、スタンバイ(サスペンド)状態から復帰しても正常に動作しないことがあります。デバイスマネージャ表示中やハードウェアウィザード実行中などのシステム変更の途中でスタンバイ状態(サスペンド)にならないようご注意ください。

●スタンバイ(サスペンド)内容が失われるとき

スタンバイ(サスペンド)状態のときに次のことが起きると、スタンバイ(サスペンド)状態にするときに保存された作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき
このような場合は、次に電源を入れたときに表示される画面の指示に従ってください。

●スタンバイ(サスペンド)状態からの復帰が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ(サスペンド)状態にするときに保存された作業中のデータは保証されません。

- ・スタンバイ(サスペンド)状態のときに本機の機器構成を変更したとき
- ・また、次のような状態でスタンバイ(サスペンド)状態にするときに保存された作業中のデータは保証されません。
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・ハードディスクを読み書き中のとき
- ・スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能に対応していないアプリケーションソフトを使用中
- ・スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能に対応していない拡張機器を使用中
- ・Windowsの起動処理中、終了処理中
- ・通信用アプリケーションソフトを実行中
- ・モデム/LANなどを使って通信中のとき
- ・本機にNEC製キーボード以外のキーボードを接続しているとき

●スタンバイ(サスペンド)状態からの復帰が正しく実行されない場合

次のような場合には、スタンバイ(サスペンド)状態からの復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションソフトが動作しない
 - ・スタンバイ(サスペンド)内容を復元できない
 - ・電源スイッチを押してもスタンバイ(サスペンド)状態から復帰しない
- このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、スタンバイ機能(サスペンド/レジューム)は使わないでください。万一、スリープボタンを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合は本機を再起動させ、再度正常な方法で電源を切ってください。このときに、エラーメッセージが表示される場合は、システム管理者へ連絡してください。

●その他の注意

- ・通信ソフトを使用中の場合は、通信ソフトを終了させてから、スタンバイ(サスペンド)状態にしてください。通信状態のままスタンバイ(サスペンド)状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。

電源の自動操作

タイマやLAN(ローカルエリアネットワーク)、によって、自動的に電源の操作を行うことができます。

98... タイマ

- ①「コントロールパネル」→「電源の管理」の「システムスタンバイ」を設定しておく、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスなどが無い場合、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スタンバイ状態にすることができます。工場出荷時は約15分でディスプレイの電源を切るように設定されています。

ACPIモードにて本機を使用中に、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックすると表示される「システムスタンバイ」の設定時間を、「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行された時点からの時間となります。

従って、下記のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは、「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→15分後

「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合は、次のように設定してください。

例1:「システムスタンバイ」→15分後

「モニタの電源を切る」→5分後

例2:「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→なし

- ②「Timer-NX」のタイマ機能を使って、指定した時刻に電源を入れる/切る、またはスタンバイ状態にする/スタンバイ状態から復帰することができます。「Timer-NX」で指定した時刻に電源を入れることができるのは、APMモードで使用しているときだけです。ACPIモードでは使用できません。

参照 ▶ 「電源の管理について (APM モード/ACPI モード)」(P.14)

95/NT タイマ

- ①「BIOSセットアップメニュー」で、「自動サスペンドタイムアウト」を設定しておく、設定した時間(自動サスペンド開始時間)を経過してもマウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスなどが無い場合、自動的にサスペンド状態にすることができます。設定を変更したい場合は、システム管理者へ連絡してください。
- ②「Timer-NX」のタイマ機能を使って、指定した時刻に電源を入れる/切る、またはサスペンド/レジュームを行うことができます。

✓ **チェック!!** Windows NTモデルの場合、「Timer-NX」のタイマ機能を使って、サスペンド/レジュームを行うことはできません。

参照 「Timer-NX」(P.78、110)

リモートパワーオン機能(LANボードによる電源の自動操作)

離れた所にあるシステム管理者のマシンから、LAN接続された本機の電源を入れる/スタンバイ状態から復帰する(レジューム)ことができます。ただし、Windows NTモデルの場合、リモートパワーオン機能によりレジュームさせることはできません。

リモートパワーオン機能を利用するためには、BIOSセットアップメニューの設定が必要です。詳しくはシステム管理者にご相談ください。

- ✓ **チェック!!**
- ・ Windows 98モデルの場合、リモートパワーオン機能はACPIモードでは使用できません。APMモードでのみ使用できます。
 - ・ 前回のシステム終了が正常に行われなかった場合、リモートパワーオン機能にて電源を入れることはできません。一度電源スイッチを押して、Windowsを起動させ、再度正常な方法で電源を切ってください。
 - ・ Windows NTモデルの場合、タイマ機能または、リモートパワーオン機能にて本機を起動した時にログインするには、Timer-NXのオートログオンの設定が必要です。

参照 「Timer-NX」(P.78、110)

キーボード

ここでは、キーボードを使った文字入力や、キーボードの設定、調整の方法を説明します。

添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインターフェース、キー配列などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

●USB接続のキーボード

USB109キーボード

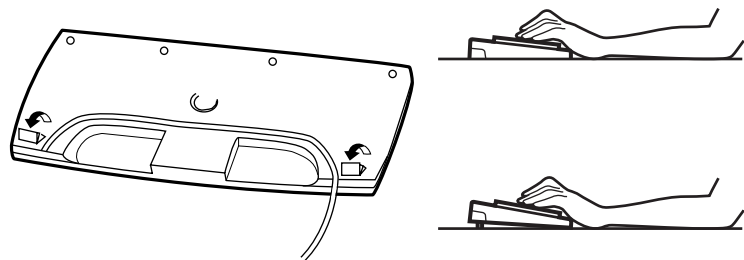
USB小型キーボード

●PS/2接続のキーボード

PS/2 109キーボード

角度調整

キーボードの裏側には角度調節用の脚があります。脚を立てるとキーボードの角度が変わります。設置状況に応じて使いやすい角度を選択してください。



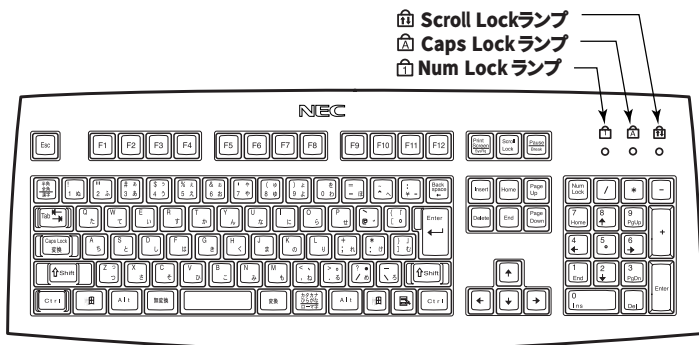
USB109キーボードおよびPS/2 109キーボード

1

本体の構成各部

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーのほかに、プログラムの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムによって異なります。



Esc : エスケープキー

F1 ~ **F12** : ファンクションキー

Print Screen : プリントスクリーンキー

Scroll Lock : スクロールロックキー

一度押すと、Scroll Lockランプが点灯します。→「キーをロックする」(P.29)

Pause Break : ポーズ/ブレイクキー

半角/全角/漢字 : 半角/全角/漢字キー

Tab : タブキー

Caps Lock : キャプスロック/英数キー

【Shift】を押しながら【Caps Lock/英数】を押すとキャプスロックし、Caps Lockランプが点灯します。→「キーをロックする」(P.29)

Shift : シフトキー

Ctrl : コントロールキー

Windows : Windowsキー

Application : アプリケーションキー

WindowsキーとアプリケーションキーはWindowsによって機能を割り当てることができます。

Alt : オルトキー

無変換 : 無変換キー

Space : スペースキー

変換 : 変換キー

カタカナひらがなローマ字 : カタカナひらがな/ローマ字キー

Enter : エンターキー

Backspace : バックスペースキー

Insert : インサートキー

Delete : デリートキー

Home : ホームキー

End : エンドキー

Page Up : ページアップキー

Page Down : ページダウンキー

↑ ↓ → ← : カーソル移動キー

Num Lock : ニューメリックロックキー

一度押すとニューメリック
ロックし、Num Lockランプが
点灯します。→「キーをロック
する」(P.29)

キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印字されているキーがあります。これらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせて使うことで入力することができます。これらの操作方法は、使用する日本語入力プログラムによって異なります。

(例) 【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち分けるには



他のキーと組み合わせず単独で押すと、小文字a。
【Shift】と【Caps Lock】を押した後だと大文字A。
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押して日本語入力モードにした後、【Alt】と【カタカナひらがな/ローマ字】を押した後に入力



【Shift】を押しながら、このキーを押す
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押して日本語入力モードにした後に押す
(上記のキーで (ち) を入力するときと同じ)
他のキーと組み合わせずに単独で押す

以上の手順は、日本語入力モードの設定がすべて工場出荷時（ローマ字入力）の状態からの操作方法です。

キーをロックする

【Caps Lock】【Num Lock】【Scroll Lock】は、ロックされているときと、ロックされていないときでキーの機能が異なります。

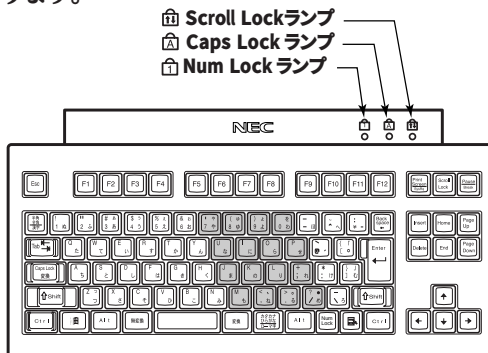
それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力されます。	英字が小文字で入力されます。
【Num Lock】 【Scroll Lock】	キー前面に表示されている数字が入力されます。（イラストのグレーになっているキー部）	キー上面の文字が入力されます。
	アプリケーションによって機能が異なります。	

USB小型キーボード

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーのほかに、プログラムの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムによって異なります。



 : エスケープキー

 ~  : ファンクションキー

 : プリントスクリーンキー

 : スクロールロックキー

一度押すと、Scroll Lockランプが点灯します。→「キーをロックする」(P.31)

 : ポーズ/ブレイクキー

 : 半角/全角/漢字キー

 : タブキー

 : キャプスロック/英数キー

【Shift】を押しながら【Caps Lock/英数】を押すとキャプスロックし、Caps Lockランプが点灯します。→「キーをロックする」(P.31)

 : シフトキー

 : コントロールキー

 : Windowsキー

 : アプリケーションキー

WindowsキーとアプリケーションキーはWindowsによって機能を割り当てることができます。

 : オルトキー

 : 無変換キー

 : スペースキー

 : 変換キー

 : カタカナひらがな/ローマ字キー

 : エンターキー

 : バックスペースキー

 : インサートキー

 : デリートキー

 : ホームキー

 : エンドキー

 : ページアップキー

 : ページダウンキー

 : カーソル移動キー

 : ニューメリックロックキー

一度押すとニューメリックロックし、Num Lockランプが点灯します。→「キーをロックする」(P.31)

キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印字されているキーがあります。これらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせて使うことで入力することができます。これらの操作方法は、使用する日本語入力プログラムによって異なります。

(例) 【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち分けるには



他のキーと組み合わせず単独で押すと、小文字a。
【Shift】と【Caps Lock】を押した後だと大文字A。
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押した後に
した後、【Alt】と【カタカナひらがな/ローマ字】を押した後に
入力



【Shift】を押しながら、このキーを押す
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押した後に押す
(上記のキーで (ち) を入力するときと同じ)
他のキーと組み合わせず単独で押す

以上の手順は、日本語入力モードの設定が全て工場出荷時（ローマ字入力）の状態からの操作方法です。

キーをロックする

【Caps Lock】【Num Lock】【Scroll Lock】は、ロックされているときと、ロックされていないときでキーの機能が異なります。

それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力されます。	英字が小文字で入力されます。
【Num Lock】	キー前面に表示されている数字が入力されます。（イラストのグレーになっているキー部）	キー上面の文字が入力されます。
【Scroll Lock】		
	アプリケーションによって機能が異なります。	

アプリケーションキーとWindowsキーについて

アプリケーションキーとWindowsキーはWindowsで利用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windowsキー()

Windowsキーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。

Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

 + R	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
 + M	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
 +  + M	 + M でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
 + F1	Windowsのヘルプを起動する
 + F	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
 +  + F	コンピュータを検索するウィンドウを表示する
 + 	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える
 + 	「システムプロパティ」ウィンドウを表示する (Windows 95のみ)

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを使います。本機では、Windows 98モデルではMS-IME98が、Windows 95モデルおよびWindows NTモデルではMS-IME97が使用できます。

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには2つの方法があります。

- ・ キーボードの[Alt]を押しながら[半角/全角/漢字]を押す。
- ・ タスクバーの右下のをクリックし、表示されるメニューから「日本語入力-オン」または「日本語入力-オフ」を選択する。

日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。ここでは、最も簡単な手順を示します。詳しくは、MS-IME98 (MS-IME97) のヘルプをご覧ください。

- 1 MS-IME98 (MS-IME97) ツールバーの一番左のアイコンをクリックして入力する文字の種類をクリック
- 2 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)する
- 3 [変換]を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで繰り返す)
- 4 [Enter]を押す(この段階で確定し、文字が入力される)

メモ

MS-IME98 (MS-IME97) のヘルプを表示するには、MS-IME98 (MS-IME97) ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてください。

MS-IME98の場合



ヘルプを見るにはここをクリック

MS-IME97の場合



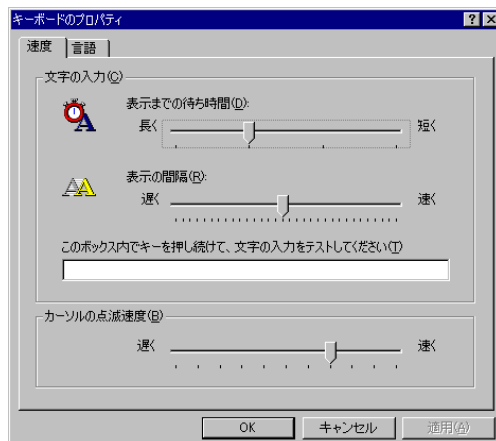
ヘルプを見るにはここをクリック

設定を変更する

キーボードの応答速度やカーソルの点滅速度、使用する言語などを設定することができます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「キーボード」をダブルクリック
この操作で次のような画面が表示されます。



詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

使用上の注意

Nキーロールオーバー

Nキーロールオーバーとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力したキーが有効となる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似Nキーロールオーバーのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや、有効にならないことがあります。

USB接続キーボードの抜き挿し

本機に添付のUSB接続キーボードには、USB109キーボードとUSB小型キーボードの2種類があります。

・ USB接続キーボードの抜き挿し

電源が入った状態でUSB接続キーボードを抜き挿しする場合に、USB接続キーボードが取り外されたことや取り付けられたことを、本体が認識するためには数秒～10秒程度必要です。瞬間的な抜き挿しを繰り返すとキーボード入力ができなくなることがあります。

キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続キーボードを正しく接続した後に、電源ボタンを4秒以上押しつけて強制的に電源を切り、Windowsを再起動してください。



チェック!!

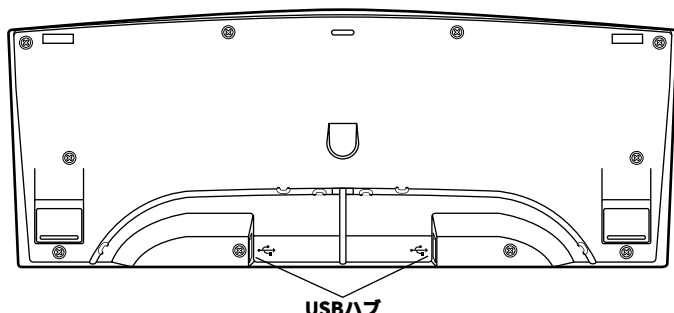
Windows NTモデルをご使用の場合は、電源が入った状態でUSB接続キーボードおよびUSB接続マウスの抜き挿しは行わないでください。

95... Windows 95の設定・情報

- ・ 「コントロールパネル」→「パワーマネジメント」で「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをオフに変更しないでください。変更するとサスペンド/レジューム後、USBキーボードが動作しなくなります。
- ・ 「コントロールパネル」→「キーボード」→「情報」タブで、キーボードの種類が「106日本語キーボード」と表示されていますが、異常ではありません。

USB接続キーボードの使用上の注意

USB接続キーボード(USB109キーボード、USB小型キーボード)の裏面には、USB機器を接続するためのハブが2つ装備されています。そのうち1つは標準添付のスクロールボタン付きマウスが接続されます。残りの1つには別売のUSB機器を接続できますが、次の制限があります。



電源容量による接続の制限

USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワードデバイス」と「ローパワードデバイス」の2種類に分類されます。USBバスパワードハブ付きキーボードに接続できるUSB機器は「ローパワードデバイス」のものに限られます。



チェック!

Windows NTモデルをご使用の場合、本機に添付のUSB接続キーボードおよびUSB接続マウス以外のUSB機器は使用できません。

メモ

ハイパワードデバイス:接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。

- 例) PK-UP001 (フルカラーイメージスキャナ)
PK-MC201 (デジタルビデオカメラ)
PK-MC202 (デジタルビデオカメラ)

ローパワードデバイス:接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

- 例) PK-KB009 (マウス)
PK-UP004 (バーコードリーダー)
PK-UP006 (メモリカードリーダー/ライター)

- USB接続キーボードのUSBハブは、バスパワードハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。
- USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、USB接続キーボードの場合には2段までの縦列接続でご使用になってください。

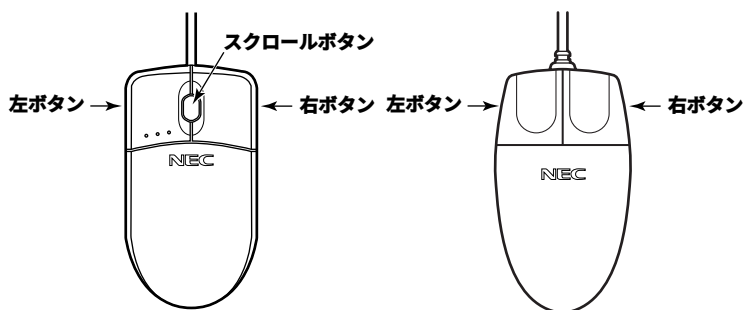
マウス

ここでは、マウスを取り扱うときの注意や、設定の方法を説明します。本機に添付されるマウスは、ご購入時に選択されたキーボードの種類により異なります。

マウスについて

■USB接続のキーボードの場合

■PS/2接続キーボードの場合



マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して放す操作です。特に指定が無い場合は左ボタンを使います。

スクロールボタン付きマウスのスクロールボタンの使い方

USB接続のキーボードに添付されるスクロールボタン付きマウスには、スクロールボタンがあります。

スクロールボタンは通常、上に押し続けたり、手前へ引き続けることで画面を上下にスクロールさせることができます。

スクロールボタンをクリックするか、押し続けるとスクロールアイコン  が表示されます。その場合は三角マークの方向にマウスを動かすと、画面を上下にスクロールさせることができます。

スクロールアイコンを消すには、スクロールボタンを再度クリックするか、スクロールボタンから指を離してください。



チェック!!

スクロールボタンはアプリケーションによっては使用できない場合があります。

マウスの取り扱い

マウスを使うときは、次のことに注意してください。注意を守らずに使用すると、マウスの故障の原因となります。

- ほこりや消しゴムのかすなどのある場所で使わない
- コードを引っかけない
- コードを強く曲げたり、引っ張ったりしない
- 裏面のネジを外さない、分解しない
- コネクタ内のピンに直接触れない
- 動きが悪くなってきたら、ボールとローラの汚れを掃除してください
→「本機のお手入れ」(P.190)



チェック!!

- Windows 95モデルを使用中の場合、「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」で「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをオフに変更しないでください。
変更するとサスペンド/レジューム後、マウスが動作しなくなります。
- 描画速度の速いアクセラレータでは、「ポインタの軌跡」を「使用する」に設定しても、軌跡が表示されない場合があります。

設定を変更する

マウスの応答速度やマウスポインタの形などを設定することができます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「マウス」をダブルクリック

この操作で次のような画面が表示されます。



詳しくはWindowsのヘルプまたは「マウスのプロパティ」のタイトルバーにある **?** アイコンをクリックし、説明の必要な項目をクリックすると表示されるヘルプを参照してください。

ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使用の用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

表示できる解像度と表示色について

本機では、表示する解像度と表示色は、以下の水平走査周波数・垂直走査周波数で表示可能となります。

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15インチ CRTディ スプレイ (DV15A2)	17インチ CRTディ スプレイ (DV17B2)	14インチ 液晶ディ スプレイ (F14T3) (F14S1W)	15インチ 液晶ディ スプレイ (F15T1) (F15S1W)	18インチ 液晶ディ スプレイ (F18S1W)
640×480	256色	43.3	85.0	○	○	×	×	×
	65,536色	37.5	75.0	○	○	○※	○※	○※
	1,677万色	31.5	59.9	○※	○※	○※	○※	○※
800×600	256色	53.7	85.1	○	○	×	×	×
	65,536色	46.9	75.0	○	○	○※	○※	○※
	1,677万色	37.9	60.3	○※	○※	○※	○※	○※
1,024×768	256色	68.7	85.0	○	○	×	×	×
		60.0	75.0	○	○	○※	○※	○※
	65,536色	56.5	70.1	×	×	○※	○※	○※
		48.4	60.0	○※	○※	×	×	×
1,280×1,024	256色	80.0	75.0	×	×	×	×	×
	65,536色							
	1,677万色	64.0	60.0	×	○	×	×	×

※画面の位置、サイズなどの調整が必要な場合があります。



表示する色の数によって、次のように呼ばれることもあります。

1,677万色：True Color(32ビット)、フルカラー

65,536色：High Color(16ビット)



チェック!

液晶ディスプレイは、Windowsのセットアップが完了した後、画面の調整が必要になる場合があります。調整方法については、液晶ディスプレイに添付の取扱説明書をご覧ください。なお、「液晶ディスプレイ調整ツール」を利用すると簡単に液晶ディスプレイの画面の調整が行えます。

参照 ▶ 「アプリケーションの概要」の「液晶ディスプレイ調整ツール」(P.91)または (P.123)

ディスプレイの表示の設定を変更する

ディスプレイの解像度やデスクトップの配色などを設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」アイコンをダブルクリック
- 3 [Windows 98の場合]
「設定」タブをクリック
[Windows 95の場合]
「ディスプレイの詳細」タブをクリック
[Windows NTの場合]
「ディスプレイの設定」タブをクリック

この操作で次のような画面が表示されます。
表示される画面は、機種やモデルにより異なります。



詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

適合するディスプレイを使う

本機に接続するディスプレイは「表示できる解像度と表示色について」(P.40)を参考に、適合するディスプレイを使用してください。

NT... ディスプレイの省電力機能について

ディスプレイセットモデルをご購入のお客様は、ディスプレイの省電力機能が使用できます。

 **チェック!** 本体とセットのディスプレイ以外のディスプレイでは、本機能は使用できません。お手持ちのディスプレイに損傷を与える可能性があります。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」をダブルクリック
- 3 「スクリーンセーバー」タブをクリック
- 4 「スクリーンセーバー」ウィンドウで、「省電力対応スクリーンセーバー」をクリック
- 5 「設定」ボタンをクリック
- 6 「ディスプレイの電力設定」で「サスペンド」または「オフ」を選択する
 - サスペンド 一定時間経過後ディスプレイをサスペンド状態にします。
 - オフ 一定時間経過後ディスプレイを電源オフ状態にします。
- 7 「OK」ボタンをクリック
- 8 「実行までの待ち時間」ウィンドウでシステムがアイドル状態になってから省電力状態に移行するまでの時間を設定する
- 9 「OK」ボタンをクリック

別売のディスプレイについて

本機には、別売のディスプレイを接続することができます。別売のディスプレイを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- Windowsを使用するには、640×480ドット以上の解像度に対応したディスプレイを使用してください。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。
- 本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、解像度、走査周波数の条件を満たしていることを確認してください。
- ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。
- 次の別売のディスプレイは使用できません。

PC-KM212

PC-KM174

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密な装置です。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生することもあります。軽い障害であれば、スキャンディスクまたはエラーチェックを使って修復することができます。また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブには、それぞれ呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。

本機のハードディスクドライブは、工場出荷時には第1パーティション（ドライブ番号:Cドライブ）として2GBの領域だけが確保されています。残り（未使用）の領域を使用するためには、領域を確保し（パーティションを区切り）、ドライブ番号を割り当てる必要があります。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。



98/95 残りの領域を確保するには、FDISKコマンドを使用します。FDISKコマンドの使用方法についてはシステム管理者にご相談ください。

●ハードディスクドライブ

	ドライブ番号	NF30H/C
全体容量		3.2GB
第1パーティション	Cドライブ	2.0GB
残り	割り当てられていません	未使用

スキャンディスクの操作手順

スキャンディスクを使用すると、ハードディスクのファイルやフォルダにデータエラーがないかチェックできます。

Windows 98/95が起動している場合(通常の場合)

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」をクリック
- 2 エラーをチェックするドライブを選択する
- 3 「チェック方法」で「標準」を選択する
- 4 「エラーを自動的に修復」を選択する
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 「結果レポート」が表示されたらレポートを読み、エラーが発見されなかった場合は、「閉じる」ボタンをクリック
エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。
- 7 もう一度「閉じる」ボタンをクリック

Windows 98/95が起動できなかった場合(異常があった場合)

- 1 本体の電源を入れる
- 2 [Windows 98の場合]
「NEC」のロゴが表示されたら、すぐに【Ctrl】を押し、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されたら手順3へ進む
[Windows 95の場合]
「Starting Windows 95」のメッセージが表示されたら、すぐに【F8】キーを押す

- 3 [Windows 98の場合]
「5.Command prompt only」を選択して【Enter】を押す
[Windows 95の場合]
「6.Command prompt only」を選択して【Enter】を押す
- 4 コマンド プロンプトから scandisk と入力し、【Enter】を押す
- 5 エラーが発生した場合は「ファイルに変換する」等を選択して修復する
- 6 「クラスタスキャンを実行しますか?」のメッセージが表示されたら矢印キーで「いいえ」を選択して【Enter】を押す
- 7 【X】を押してスキャンディスクを終了する

 **チェック!** 定期的にスキャンディスクを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。
スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合はシステム管理者へ連絡してください。



Windows 98には、メンテナンスウィザードという機能があります。メンテナンスウィザードを利用すると、定期的にスキャンディスクを起動することができます。メンテナンスウィザードの起動方法は次の通りです。
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「メンテナンスウィザード」をクリック

エラーチェックの操作手順

- 1 Windows NT 4.0のデスクトップで「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 2 エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」→「プロパティ」をクリック

- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」をクリック
- 6 「チェックディスクオプション」を選択する
- 7 「開始」ボタンをクリック

定期的エラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。

デフラグの操作手順

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所に、ばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。Windows 98、およびWindows 95では、このようなばらばらになったデータを、最適な場所に整理することができる「デフラグ」という機能を使うことができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」をクリック
- 2 「ドライブの選択」でデフラグを実行するドライブを選択する
- 3 「OK」ボタンをクリック
- 4 「開始」ボタンをクリック
- 5 「ディスクの最適化」ダイアログボックスが表示されたら「はい」ボタンをクリック

 **チェック!** デフラグ実行中は、絶対に本機の電源を切らないでください。

使用上の注意

振動や衝撃を加えない

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

- ・ 電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・ 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずか1000分の数ミリしか空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまう。大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

参照

バックアップをとるには→「Masty Data Backup」(P.69、106)またはWindows のヘルプ

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所があることがあります。これを「不良セクタ」、または「スキップセクタ」といいます。パーソナルコンピュータは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windows 98/95の「スキャンディスク」、およびWindows NT4.0の「エラーチェック」などを実行すると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されていたことを表しており、異常ではありません。

また、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数*が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク	正常値
3.2Gバイト	3,200,000,000バイト以上

※表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。



ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。OSによっては、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本機より小さな音がする場合がありますが、異常ではありません。

サウンド機能

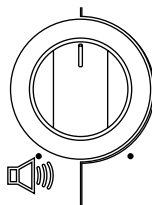
本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器から再生することができます。

音量の調節

音量の調節には2通りの方法があります。どちらかの方法で音量が最小になっていると、音が出ないので注意してください。

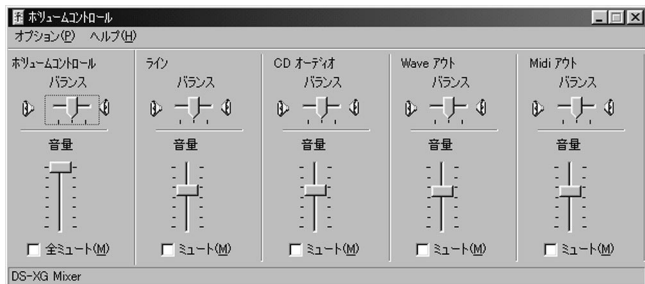
内蔵スピーカボリューム

本体の内蔵スピーカボリュームを右へ回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。



ボリュームコントロール

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリックすると、次のような画面が表示されます。



表示される画面はモデルにより異なります。

詳しい使い方についてはWindowsのヘルプをご覧ください。



チェック!!

ディスプレイを低解像度に設定してボリュームコントロールを表示すると、ボリュームコントロールのすべての項目が表示できなかったり、右端の項目の表示が一部欠けることがあります。この場合は、ディスプレイの解像度を変更するか、必要な項目のみを表示するようにボリュームコントロールの設定を変更してください。なお、ディスプレイの解像度を変更する場合は、ボリュームコントロールを一度終了させた後に再度表示させてください。



LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

本機には100BASE-TX/10BASE-T自動切換えのLAN機能が標準で装備されています。ここでは本機をLANに接続する方法を説明します。

LAN(ローカルエリアネットワーク)への接続

接続前の確認

本機をローカルエリアネットワークに接続するには、マルチポートリピータ(HUB)と専用ケーブルが必要です。100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したものをご用意ください。100BASE-TXに対応したものの方が、より高速です。詳しくは「内蔵LANボード機能仕様」(P.189)をご覧ください。

100BASE-TXで使用する場合は必ずカテゴリ5対応ケーブル(別売)を使用してください。

接続方法

リンクケーブルの接続方法については、『はじめにお読みください』をご覧ください。



チェック!!

本機を稼働中のネットワークに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。

ヘルプの表示方法

ここではヘルプの表示方法について説明します。

- 98... Windows 98のヘルプの詳細は『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』「第1章 はじめに」の「情報の探し方」をご覧ください。
- 95... Windows 95のヘルプの詳細は『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』「第1章 基本的な操作」の「ヘルプを表示する」をご覧ください。
- NT... Windows NTのヘルプの詳細は『Microsoft® Windows NT® WorkStationファーストステップガイド』「第2章 Windows NTの基本オンラインヘルプを表示する」をご覧ください。

特定の操作手順についてのヘルプ

目次またはキーワードを入力して操作手順を探す

1 「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリック

2 ヘルプウィンドウ内の  または  をダブルクリック



をダブルクリックすると、さらに細かな項目が表示されます。



をダブルクリックすると、項目の内容を説明する画面が表示されます。

設定項目のヘルプ(画面に表示されている項目についてのヘルプ)

設定方法が分からない場合に、ヘルプ画面を表示してその項目の説明を読むことができます。

設定項目に関する説明を表示する

- 1 ダイアログボックスのタイトルバーにある  アイコンをクリック
カーソルが  になります。

- 2 説明が必要な項目をクリック



説明が必要な項目を選択して【F1】を押しても同様の画面が表示されます。

2

周辺機器を利用する

ここでは、外付けの周辺機器について紹介します。

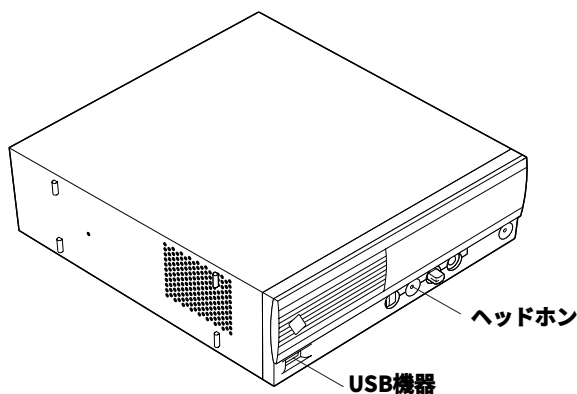
この章の内容

接続できる周辺機器	56
-----------------	----

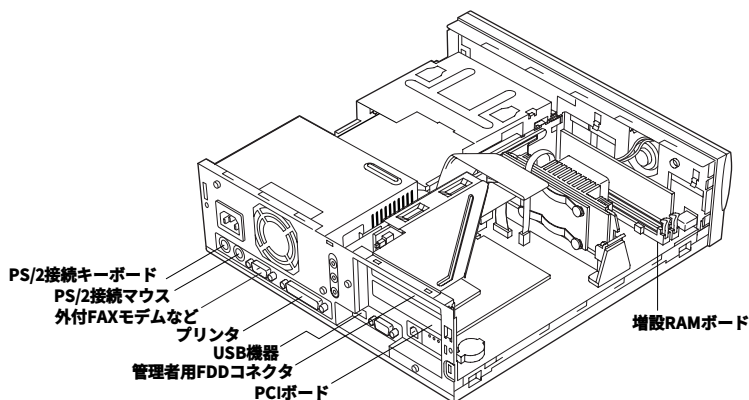
接続できる周辺機器

本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

本体正面



本体背面



チェック!! 周辺機器の接続についてはシステム管理者にお問い合わせください。

アプリケーションの概要 (Windows 98/95モデルの場合)

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要について説明します。

この章の内容

この章の構成	58	CyberWarner-NX	74
知っておきたい便利な機能と		Timer-NX	78
アプリケーション	59	NEC Soft MPEG1.0	84
RSA SecurPC	60	プレーヤ-NX	86
VirusScan	61	文豪 DP/LAN シリーズコンバータ	88
DMITool	66	Acrobat Reader	89
pcANYWHERE32 EX	68	英語モードフォントを使用する	90
Masty Data Backup	69	液晶ディスプレイ調整ツール	91
CyberTrio-NX	70		



この章の構成

この章では各アプリケーションの概要について説明します。

ヘルプについて

- ✓ **チェック!**
- ・各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
 - ・用語、操作の方法や手順など、分からないことが起きたときに活用します。

ヘルプの起動方法

- 1 各アプリケーションの「メニューバー」にある「ヘルプ」をクリック
「ヘルプ」の画面が表示されます。

概要について

- ・アプリケーションの起動方法、主画面などについて概略を説明します。

知っておきたい便利な機能とアプリケーション

機 能	工場出荷時の状態※	アプリケーション
インターネットへ接続する	○	Internet Explorer 4.01
ソフトをダウンロードする		
電子メールを送受信する	○	Outlook Express
ネットワーク会議を行う	○	Microsoft NetMeeting
ファイルやフォルダの暗号化、復号を設定する	△	RSA SecurPC
コンピュータウイルスを検出して除去する	△	VirusScan
タイマ機能を使う	△	Timer-NX
本機の情報进行管理する 障害監視/資産管理	△	DMITool
遠隔地からパソコンを操作する	△	pcANYWHERE32 EX
ハードディスクをバックアップする	△	Masty Data Backup
利用のレベルに合わせてOSの操作可能な範囲を設定する	△	CyberTrio-NX
OSの動作に影響を与えるファイルを保護・監視する	△	CyberWarner-NX
音楽CD、ビデオCDなどの音声と画像を再生する	△	プレーヤ-NX NEC Soft MPEG 1.0
文豪DPシリーズ、LANシリーズで作成したデータを一太郎8、三四郎8で利用する	△	文豪DP/LANシリーズコンバータ
PDF形式の電子マニュアル等の表示、閲覧、印刷をする	△	Acrobat Reader
液晶ディスプレイの画像の調整	△	液晶ディスプレイ調整ツール

○：工場出荷時にインストールされているアプリケーション

△：工場出荷時に添付されているアプリケーション



RSA SecurPC

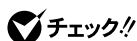
RSA SecurPCはハードディスク、フロッピーディスクまたはネットワークサーバー上のファイルのプライバシーを守るためのファイル暗号化ツールです。

概要

RSA SecurPCはファイルを暗号化および復号化するツールです。

RSA SecurPCには次のような特徴があります。

- RC4という暗号方式のアルゴリズムを使用しています。
- マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- 共有パスワードでファイルを暗号化でき、ファイルを共有できます。
また、RSA SecurPCを持っていないユーザとも、暗号化したファイルを共有もできます。



チェック!!

- RSA SecurPCは工場出荷時の状態ではインストールされていません。RSA SecurPCを使用する場合は、システム管理者に連絡してください。
- RSA SecurPCの使い方については、「アプリケーションCD-ROM」に添付されているマニュアル(\securPC\securPC.pdf)をご覧ください。ただしこのマニュアルを見るためにはAcrobat Readerが必要です。システム管理者にご相談ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 暗号化/復号化するファイル/フォルダを選択し、右クリック

Virus Scan

概要

コンピュータ ウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「コンピュータウイルス対策について」(P.178)をご覧くださいのうえ、対処してください。



チェック!

VirusScanは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、以下の手順で、VirusScanコンソールを起動します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリック

プログラムが起動し、VirusScanの画面が表示されます。

2 「スキャン開始」ボタンをクリック

ウイルス検査の対象とするドライブフォルダを細かく設定するには「対象」プロパティの「スキャン」項目に検査対象を設定します。



その他の設定内容についてはヘルプをご覧くださいのうえ、設定項目を右クリックして状況依存ヘルプを表示します。

主画面



エマージェンシーディスクを作成する

エマージェンシーディスクは、ハードディスクのシステムファイルが未知のウイルスに感染した場合に、システムを安全に起動することができます。以下の手順でエマージェンシーディスクを作成してください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリック
- 2 「McAfeeエマージェンシーディスク作成ユーティリティ」の画面が表示されたら「継続」ボタンをクリック



チェック!! エマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

- 3 「システムファイル付きのフロッピーディスクを、書き込み禁止を解除して挿入してください。」というメッセージが表示されたら、本機と同じネットワーク上に接続された任意のコンピュータのフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを入れて「OK」ボタンをクリック
- 4 「McAfeeエマージェンシーディスク1が作成されました」というメッセージが表示されたら、手順3で挿入したフロッピーディスクを抜き、2枚目のフロッピーディスクを入れて「OK」ボタンをクリック

5 「エマージェンシーディスクが作成されました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック



チェック!

VirusScanで作成したエマージェンシーディスクを、本機のメモリが96MB以上の状態でご使用になる場合は、エマージェンシーディスクの設定を変更する必要があります。

設定を変更するプログラムを、次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。プログラムの使用方法についても、本情報サービスをご覧ください。

ネットワークアソシエイツ社

<http://www.nai.com/japan/>

メモ

毎時、毎日、毎週、毎月というぐあいに定期的にウイルスを検索するスケジュールスキャン、ネットワークやフロッピーディスクを経由して入出力されるファイルをリアルタイム監視するオンアクセススキャンなどの機能もあります。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

定期検査用のタスクを作成する

タスクの作成方法は、オンラインヘルプを参照してください。

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 「タスクプロパティ」の画面が表示されたら「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリック
- 4 「VShield設定」の画面の「スキャン」タブの「情報」で「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを外す
- 5 「VShield設定」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 6 「VShield設定マネジャー」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 7 「タスクプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 8 Windowsを再起動する

ウイルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 「タスクプロパティ」の画面が表示されたら「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリック
- 4 「VShield設定」の画面の「スキャン」タブの「情報」で「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを付ける
- 5 「VShield設定」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 6 「VShield設定マネジャー」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 7 「タスクプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 8 Windowsを再起動する

DMITool

概要

DMIToolは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force)が規定したDMI (Desktop Management Interface)を採用しています。

DMIToolは、以下の5つの機能により構成されます。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIFブラウザ
- ・リモート電源制御(リモートパワーオン機能)
- ・WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細については、オンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。



チェック!

- ・DMIToolは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。
 - ・本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合は、注意が必要です。詳しくは添付のオンラインヘルプをご覧ください。
- 98... ・Windows 98モデルにおいて、電源管理のモードを「ACPIモード」で使用しているときは、本機に対してリモートパワーオンできない場合があります。電源管理モードを確認しながらお使いください。
- 98/95 ・状態監視機能の「システムヘルス」で「監視方法」を「システムの監視をする」に設定していると、スキャンディスク実行時に著しく時間を要するか、エラーとなる場合があります。スキャンディスクを実行する場合は、「監視方法」を「システムの監視をしない」に設定してから実行してください。

起動方法

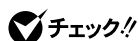
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「DMITool」の中から利用したい機能をクリック
選択した機能の画面が表示されます。



pcANYWHERE32 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!!

- pcANYWHERE32 EXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- 本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使用して他のパソコンを操作することはできません。
- 他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- pcANYWHERE32 EXでは、接続デバイスとしてIPX (Windows NTモデルを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続を使用してください。

「pcANYWHERE32 EX」の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリック

Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、高性能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、Zip、Jaz、SuperDiskおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きなときに自動実行するスケジューリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。



チェック!

Masty Data Backupは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Masty Data Backup 1.0」をクリック



CyberTrio-NX

概要

CyberTrio-NXは、Windows 98/95を利用レベルに合わせ、次の3つのモードから選択できます。インストールしたときの状態ではアドバンスモードに設定されています。

- ・カスタムモード : マイプログラムまたはカスタムデスクトップに登録しているアプリケーションのみを使用できます。
- ・ベーシックモード : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・アドバンスモード : Windows 98/95へのフルアクセスが可能です。

運用・管理を効率的に行うために、アドバンスモードをシステム管理者に、カスタムモードを一般ユーザに割り当てて使用することをおすすめします。



チェック!

CyberTrio-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合はシステム管理者へ連絡してください。

各モード間の移行方法

各モード間を移行するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」より選択します。

カスタムモードから他のモードに変更するときの、パスワードの設定を行うことが可能です。パスワードを設定することでプログラムのファイルを操作できるベーシックモードやアドバンスモードに変更することを保護します。パスワードはベーシックモード、またはアドバンスモードで設定可能です。



チェック!!

- ・モードの変更を行う前に、必ず起動中のほかのアプリケーションを終了させ、編集中の必要なデータなどは保存してください。
- ・Windows98/95で「ユーザ別の設定」を行っている場合、Cyber-Trio-NXのモードを切り替えることはできません。Cyber-Trio-NXのモードを切り替えるために、「ユーザ別の設定」を解除するには、次の設定を行ってください。

① 「スタートボタン」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

② 「パスワード」をダブルクリック

③ [Windows 98の場合]

「ユーザー別の設定」タブで、「このコンピュータでは、すべてのユーザーが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」を選択する

[Windows 95の場合]

「ユーザー別の設定」タブで、「すべてのユーザが同じデスクトップ設定を使う」を選択する

④ 「OK」ボタンをクリック

⑤ Windowsを再起動する

- ・Cyber-Trio-NXのモードを変更すると、エクスプローラが起動してしまう場合は、モードを変更する前に、以下の手順で「アクティブデスクトップ」での「Webページで表示」の設定を変更してください。

① デスクトップの任意の場所で右クリック

② 表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックし、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外す

各モードの注意事項

ベーシックモードでの注意事項

Safeモードで起動した場合、Cyber-Trio-NXがベーシックモードになっていると、ハードウェアの設定を変更できません。

このような場合は、以下の手順で設定の変更を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に以下のように入力して、「OK」ボタンをクリック
c:\cybertrio\kiddos c:\cybertrio\script\normal.dtc
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「システム」をダブルクリック
- 5 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、変更が必要なハードウェアの設定を行う
 - ・アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合にはアドバンスモードに切り替えた後、アプリケーションをインストールしてください。
 - ・タスクバー、デスクトップの設定は、工場出荷時の状態で使用してください。
タスクバー、デスクトップの設定を変更して使用する場合は、アドバンスモードで使用してください。

カスタムモードでの注意事項

画面の解像度を320×200、320×240、640×400及び640×480にして、カスタムモードを使用される場合、壁紙は画面からはみ出して表示されます。壁紙を640×480以下の画面サイズで使用される場合は、壁紙をLowResと表記されているものに変更してください。また、1024×768以上の解像度では、壁紙は並べて表示されます。

パスワードの設定方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」の「CyberTrio-NXセットアップ」をクリック
CyberTrio-NXのプロパティが表示されます。
- 2 「パスワードの設定」タブをクリック
- 3 「パスワードを設定する」にチェックし、パスワードを入力する
- 4 パスワードの確認のためにもう一度同じパスワードを入力する
- 5 設定を有効にするために「OK」ボタンをクリック

✓チェック! 入力したパスワードは忘れないようにしてください。

ベーシックモードの利用範囲

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。
これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り換えてお使いください。

- コントロールパネルの以下の機能
 - ・ネットワーク
 - ・マルチメディア
 - ・システム
 - ・プリンタで「プリンタの削除」
- レジストリエディタやシステムエディタの使用
- CyberWarner-NXを使用時および起動時は「警告あり」のモードでの起動となる(起動後は「警告なし」に変更可能)

カスタムモードの利用範囲

カスタムモードは以下の点を制約しています。

- ・スタートメニューから選択できるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・マウスの右クリックは動作しません。

CyberWarner-NX

概要

Windows 98/95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。

- ✓ **チェック!** CyberWarner-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合はシステム管理者にご相談ください。

CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 3 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリック
- 4 常駐させる場合は「オプション」→「起動時にCyberWarner-NXを実行する」のチェックボックスにチェックを付ける
- 5 「OK」ボタンをクリック

CyberWarner-NXを終了する方法

- 1 タスクバーに表示されている「CyberWarner-NX」アイコン
をクリック
- 2 「終了」をクリック
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」の画面で「はい」ボタンをクリック

ログファイルの表示

ログ対象ファイルに対して操作した場合、その操作内容がLogViewerに保存されます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」から「CyberWarner-NX」をダブルクリック

2 「一般」タブの「参照」ボタンをクリック

ログビューワが表示されます。

ログビューワの上のリストに表示されている項目の説明は下記の通りです。

- データ: 記録した日時を表示
- オブジェクト: ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
- オーナー: 操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
- メモ: 操作の状態および簡単な説明を表示。操作の状態は、下記のどちらかになります。
 - (1) ユーザ操作
 - (2) アプリケーション操作

上のリストでデータを選択すると、下のリストのフィールド名に表示される項目に対するコンテンツは下記の通りです。

- 管理者: 「ファイル」と表示
- 復元する: バックアップファイルが使用可能かどうかを表示
- 復元されました: ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示
 - 1 復元されました
 - 0 復元されていません
- 日付: 記録した日時を表示
- ソース: ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
- バックアップ: バックアップファイルが存在すれば、絶対パスで表示
- オーナー: 操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
- オペレーション: 変更/削除等、操作の種類を表示

メモ: 操作の状態および簡単な説明を表示。上のリストのメモと同様

 **チェック!!** 採取されたログファイルは保守モードでのみ操作可能です。保守モードはNECの担当員から指示があったときに使用してください。通常はご使用になれません。

ログ対象ファイルの説明

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。

- \autoexec.bat
- \config.sys
- \msdos.sys
- \Windows\command*.*
- \Windows\system*.dll
- \Windows\system*.vxd

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

- \command.com
- \io.sys
- \Windows\win.com
- \Windows\notepad.exe
- \Windows\regedit.exe
- \Windows\explorer.exe
- \Windows\system\vm32*.*
- \Windows\command.com
- \Windows\himem.sys
- \Windows\system\sysedit.exe
- \Windows\system\iosubsys*.*
- \Windows\rundll.exe
- \Windows\rundll32.exe
- \Windows\progrman.exe
- \Windows\control.exe

\Windows\winfile.exe
 \Windows\taskman.exe
 \Windows\aztpnp.exe
 \Windows\winsock.dll
 \Windows\aztpnp.exe
 \Windows\winsock.dll

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。また、他のアプリケーションをインストールした場合に以下のファイルに修正が加わると自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

\Windows\win.ini
 \Windows\system.ini



チェック!!

- ・全角文字ファイルは監視の対象になりません。
- ・監視対象ファイルは変更できません。
- ・CyberWarner-NXでは、監視の対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの「削除」や「名称変更」は行わないでください。フォルダ名が変更された場合、ファイルを監視することができなくなります。
- ・CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除する場合、ゴミ箱の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。このような場合には、以下の手順でゴミ箱の中身の状態と表示を合わせてください。
 - ①「ゴミ箱」を右クリック
 - ②表示されたメニューで「プロパティ」をクリック
 - ③「ゴミ箱のプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック



Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時刻に本機の電源を入れる、またはスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)し、アプリケーションを起動することができます。
2. オフタイマ機能により、本機の電源を指定した時刻に切るまたはスタンバイ(サスペンド)状態にすることができます。



チェック!

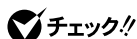
- Timer-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご利用になる場合は、システム管理者にご相談ください。
- スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを設定している場合は、「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。

参照

「電源」(P.9)

タイマ機能

タイマ機能では、本機の電源を自動的に「入れる/切る」時刻や、「スタンバイ状態にする/スタンバイ状態から復帰する」(サスペンド/レジューム)時刻の、「設定/解除」ができます。また、そのときに起動するアプリケーションを指定することができます。



チェック!

Windows 98モデルにおいて、本機の電源管理モードを「ACPIモード」で使用している場合は、この機能を利用して本機の電源を自動的に入れることはできません。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」の画面が表示されます。



- 2 曜日を指定
「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。
- 3 タイマプログラムの番号を指定
タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表(タイマプログラム)に従って「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、ひとつの曜日に3つまで指定することができます。

4 起動するアプリケーションを指定する

起動するアプリケーションを「Timer-NX」の「実行ファイル」メニューで指定します。メニューに起動したいアプリケーションが無い場合はメニューの1番下の「任意指定」をクリックし、アプリケーションを指定します。

5 「オン」と「オフ」の時刻を指定する

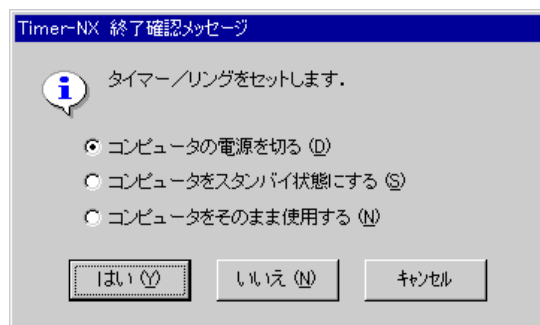


「オン」とは、本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰(レジューム)することを指します。

「オフ」とは、本機の電源を切る、または、スタンバイ(サスペンド)状態にすることを指します。

- ① 「Timer-NX」の「オン」ボタンをクリック
「オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に時計のアイコンが表示され、タイマーが設定されたことを表します。
- ② 自動的に電源を入れるまたはスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)したい時刻を設定する
数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。
- ③ 「オフ」ボタンをクリック
「オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。
- ④ 「オフ」する時刻を設定する
時刻の設定のしかたは、手順②と同じです。

6 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 次の画面が表示されます。



● オプション

- ・ コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。
- ・ コンピュータをスタンバイ(サスペンド)状態にする
「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ(サスペンド)状態にします。
- ・ コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。



コンピュータとは、本機のことを指します。

7 オプションを選んで「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。



タイマ機能を解除するには、「オン」ボタンまたは「オフ」ボタンをクリックし、ボタンが上がった状態にすると設定が解除できます。すべての設定を解除すると「現在時刻」の右の時計アイコンの表示が消えます。その後「OK」ボタンをクリックしてください。

タイマ機能を利用するときの注意

(1) タイマプログラムで「オン」/「オフ」を設定するときの注意

「オン」時刻を設定すると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れている場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定されたアプリケーションを起動します
- ・ 本機の電源が入っている場合
タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションプログラムを起動します。

- ・ 本機がスタンバイ状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機をスタンバイから復帰させ、指定されたアプリケーションを起動します。

タイマプログラムでの「オフ」は、タイマプログラムの「オン」機能が働いたときの本機の状態に戻す機能です。必ずしも本機の電源を切るわけではなく、次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・ 本機の電源が入っている場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・ 本機がスタンバイ(サスペンド)状態の場合
本機をスタンバイ(サスペンド)状態にします。アプリケーションは終了しません。

(2) タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは2日間にまたがる設定が可能です。

たとえば、当日の23:00に電源を入れ、翌日の3:00に電源を切る場合は、次のように設定します。

「オン」23:00

「オフ」27:00←翌日の午前3時を表します。

この設定では、最大次の設定が可能です。

「オン」00:00

「オフ」47:59←翌日の午後11時59分を表します。

(3) その他のご注意

- ・ 電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源を入れる、またはスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)しても、自動的に電源を切るまたはスタンバイ(サスペンド)状態にすることはできません。
- ・ 自動的に電源を切らない、スタンバイ(サスペンド)状態にしない場合は、「オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。
- ・ タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に、手操作でスタンバイ(サスペンド)状態から復帰した場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2~3分の誤差があります)。
「オフ」の時間から、次の「オン」の時間は5分以上あけてください。

オフタイマ機能

オフタイマ機能を使うと、指定した時刻に本機の電源を切る/スタンバイ(サスペンド)状態にすることができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXが起動します。
 - 2 「オフタイマ」ボタンをクリック
OffTimer画面が表示されます。
 - 3 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
 - 4 「OK」ボタンを左クリック
「OffTimer終了確認メッセージ」の画面が表示されます。
- ✓チェック!! 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマが解除されます。
- 5 電源を切るか、スタンバイ(サスペンド)状態にするかを選択する
 - 6 「はい」ボタンをクリック
「いいえ」ボタンをクリックすると、設定が解除されます。

オフタイマ機能を利用するときの注意

- (1) オフタイマ設定が行われた場合、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。
- (2) タイマ設定を行っても、以下の場合はタイマによるオフタイマ設定はできません。
 - ・無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
 - ・OffTimerを終了してしまった場合



NEC Soft MPEG1.0

概要

メディアプレーヤーなどで、MPEG1のファイルを再生するときにデータをデコードするために必要です。

MPEGファイルとしては拡張子が“.mpg”のものほかにビデオCD内の拡張子が“.dat”のものを再生することができます。



チェック!!

NEC Soft MPEG 1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合はシステム管理者に連絡してください。

起動方法

Windows 98とWindows 95では、NEC Soft MPEG1.0の起動方法が異なります。

● Windows 98の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」の「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」メニューから、「NEC Soft MPEG1.0」を選択する
- 3 「開く」の画面で、再生したいMPEGファイルを選んで「開く」ボタンをクリック
- 4 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

● Windows 95の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」の「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」メニューから、「NEC Soft MPEG1.0」を選択する
- 3 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したいMPEGファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- 4 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

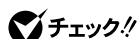
- ・ ビデオのみのデータあるいはVideo CDの静止画を含むデータ、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・ メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、コマ送りとなります。(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・ 画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・ メディアプレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。



プレーヤ-NX

概要

音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。



チェック!

- ・プレーヤ-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- ・プレーヤ-NXをご使用になる際には、別売のSCSIインターフェースボードと外付けCD-ROMドライブが必要です。
- ・プレーヤ-NXでMPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。お使いになる場合はシステム管理者へ連絡してください。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でCDプレーヤーを削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、CDプレーヤー、プレーヤ-NXの順で再追加してください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でプレーヤ-NXを削除すると、音楽CDをセットしてもCDプレーヤーは自動起動しません。音楽CDをセットしてCDプレーヤーを自動起動させる場合は、CDプレーヤーを再追加してください。

対応するCD

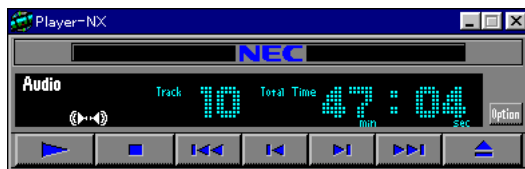
音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1) / カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ

起動方法

- 1 [Windows 98の場合]
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
[Windows 95の場合]
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
プレーヤ-NXの画面が表示されます。

主画面

音楽CD(オーディオ)の場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



✓チェック!! 詳しくは「Option」ボタン→「Help」ボタンをクリックして、「プレーヤ-NXのヘルプ」をご覧ください。

文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪DPシリーズ)の文書を一太郎文書に変換を行います。操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>: ¥dpconv ¥説明書.jtd



チェック!!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。お使いになる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- ・本プログラムは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
なお、本機では、文豪シリーズおよびLAN(N5200.PC-PTOS)シリーズのデータを変換することはできません。
- ・本プログラムをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイルを参照するには、一太郎が必要です。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換を行いたいユーティリティをクリック

変換を行いたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

「DP-CARD+→三四郎8文書変換」… NECカード型データベースソフトの文書を三四郎文書に変換します。

「DP-PLAN→三四郎8文書変換」… NEC表計算ソフトの文書を三四郎文書に変換します。

「DP-WORD→一太郎8文書変換」… NECワープロの文書を一太郎文書に変換します。

「NECAI→ATOK辞書移行ツール」… 学習単語をATOK 11登録形式に変換します。



Acrobat Reader

概要

PDF (Portable Document Format) 形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。



チェック!

Acrobat Readerは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader3.0J」をクリック
Acrobat Reader の画面が表示されます。

英語モードフォントを使用する

日本語モードフォント、英語モードフォントについて

日本語モードフォントのままで、海外製Windows 98/95アプリケーションをWindows 98/95で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)、(＼)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98/95アプリケーションをWindows 98/95で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 98/95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98/95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「㊞」、「®」→「㊟」、 「＼」→「\\」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㊞」→「©」、「㊟」→「®」、 「\\」→「＼」



チェック!!

英語モードフォントは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、システム管理者へ連絡してください。

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。液晶ディスプレイに内蔵されているOSD機能(画面調節用表示機能)と組み合わせて利用していただくことにより、液晶ディスプレイの画面調節が簡単に行えます。



チェック!!

- ・液晶ディスプレイ調整ツールは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合には、システム管理者にご相談ください。
- ・液晶ディスプレイの調整方法については、液晶ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。
- ・CRTセットモデルでは、ご使用になれません。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリック
調整パターンとガイダンスが表示されます。

アプリケーションの概要 (Windows NT4.0モデルの場合)

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要について説明します。

この章の内容

この章の構成	94	DMITool	104
知っておきたい便利な機能と		pcANYWHERE32 EX	105
アプリケーション	95	Masty Data Backup	106
Internet Explorer 4.01	96	CyberTrio-NX	107
インターネットエクスプローラ関連プログラム		Timer-NX	110
.....	97	NEC Soft MPEG1.0	118
Outlook Express (Mail & News)	98	文豪 DP/LAN シリーズコンバータ	120
Microsoft NetMeeting	99	Acrobat Reader	122
Internet Explorer 3.02	100	液晶ディスプレイ調整ツール	123
VirusScan for Windows NT	101		



この章の構成

この章では各アプリケーションの概要について説明します。

ヘルプについて

- ✓ **チェック!**
- ・各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
 - ・用語、操作の方法や手順など、分からないことが起きたときに活用します。

ヘルプの起動方法

- 1 各アプリケーションの「メニューバー」にある「ヘルプ」をクリック
「ヘルプ」画面が表示されます。

概要について

- ・アプリケーションの起動方法、主画面などについて概略を説明します。

知っておきたい便利な機能とアプリケーション

機 能	工場出荷時の状態※	アプリケーション
インターネットへ接続する ソフトをダウンロードする 電子メールを送受信する	○	Internet Explorer4.01またはInternet Explorer3.02 Outlook Express
ネットワーク会議を行う	○	Microsoft NetMeeting
コンピュータウイルスを検出して除去する	△	VirusScan for Windows NT
本機や本機に接続されている パーソナルコンピュータを管理する	△	DMITool
遠隔地からパソコンを操作する		pcANYWHERE32 EX
データバックアップをとる	△	Masty Data Backup
利用者のレベルに合わせてOS の操作可能な範囲を設定する	△	CyberTrio-NX
タイマ機能を使う	△	Timer-NX
音楽CD、ビデオCDなどの音 と映像を再生する	△	NEC Soft MPEG 1.0
文豪DPシリーズ、LANシリーズ で作成したデータを一太郎8、 三四郎8で利用する	△	文豪DP/LANシリーズコン バータ
PDF形式の電子マニュアル の表示、閲覧、印刷をする	△	Acrobat Reader
液晶ディスプレイの画面の調 整	○	液晶ディスプレイ調整ツール

※ ○:工場出荷時にインストールされているアプリケーション

△:工場出荷時に添付されているアプリケーション

Internet Explorer 4.01

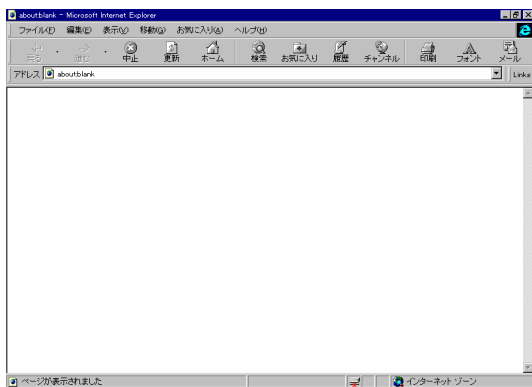
概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリック
Internet Explorerの画面が表示されます。

主画面



インターネットエクスプローラ関連プログラム

Microsoft Chat 2.1

インターネット上で、従来のテキストでの会話に加えグラフィックスを組み合わせた会話ができるチャットプログラムです。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft Chat」をクリック

Microsoft NetShow プレーヤー

NetShowに対応したWebサイトからインターネット経由で送られるマルチメディアデータがすべてダウンロードされるのを待つことなく受信しながら再生できるプログラムです。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「NetShowプレーヤー」をクリック

Real Player 4.0

Real Playerに対応したWebサイトからインターネット経由で送られる音声/映像データを受信し、再生するプログラムです。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Real Player」をクリック

Outlook Express (Mail&News)

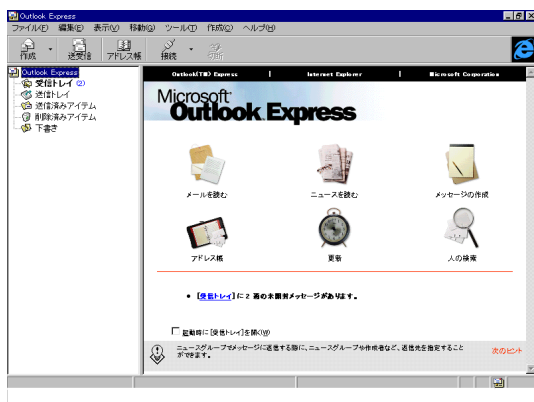
概要

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリック
Outlook Expressの画面が表示されます。

主画面



Microsoft NetMeeting

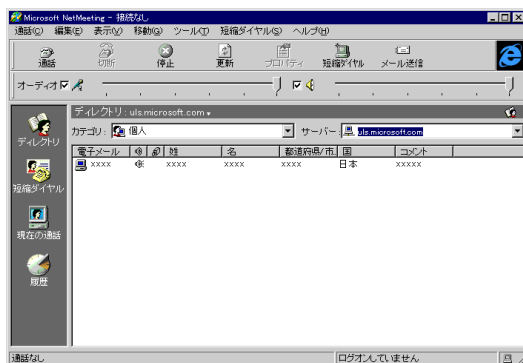
概要

インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft NetMeeting」をクリック
Microsoft NetMeetingの画面が表示されます。

主画面





Internet Explorer 3.02



チェック!!

Internet Explorer 3.02は、Internet Explorer 4.01を削除しないと使用できません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「インターネットエクスプローラ」をクリック

VirusScan for Windows NT

概要

コンピュータ ウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「コンピュータウイルス対策について」(P.178)をご覧くださいの上、対処してください。



チェック!

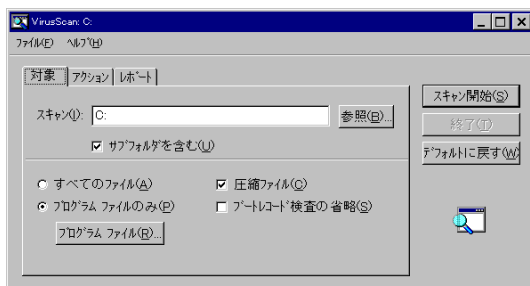
VirusScan for Windows NTは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、以下の手順で、VirusScanコンソールを起動します。機能、設定方法の詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリック

プログラムが起動し、VirusScanの画面が表示されます。



2 定期検査用のタスクを作成する

タスクの作成方法は、オンラインヘルプを参照してください。

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「VirusScanオンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
(タスクバーの後ろにメニューがかくれる場合は、タスクバーをドラッグして別の場所に移動した後メニューを選択してください)
VirusScanプロパティが起動します。
- 3 VirusScanプロパティの「検出」タブの「情報」で「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックマークを外す
- 4 VirusScanプロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 Windowsを再起動する

ウイルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「VirusScan オンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
(タスクバーの後ろにメニューがかくれる場合は、タスクバーをドラッグして別の場所に移動した後メニューを選択してください)
VirusScan プロパティが起動します。
- 3 VirusScan プロパティの「検出」タブの「情報」で「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックマークを付ける
- 4 VirusScan プロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 Windows を再起動する



DMITool

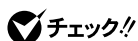
概要

DMIToolは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force)が規定したDMI (Desktop Management Interface)を採用しています。

DMIToolは、以下の5つの機能により構成されます。

- ・ システムビューア
- ・ 状態監視
- ・ MIFブラウザ
- ・ リモート電源制御(リモートパワーオン機能)
- ・ WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細については、オンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。



チェック!!

- ・ DMIToolは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- ・ 本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合は、注意が必要です。詳しくは添付のオンラインヘルプをご覧ください。

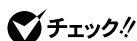
起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「DMITool」の中から利用したい機能をクリック
選択した機能の画面が表示されます。

pcANYWHERE32 EX

概要

ネットワーク接続されたほかのパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!!

- pcANYWHERE32 EXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- 本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使用して、ほかのパソコンを操作することはできません。
- ほかのパソコンから本機を操作するためには、ほかのパソコンに別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE (Symantec 社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- pcANYWHERE32 EXでは、接続デバイスとしてSPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。

「pcANYWHERE32 EX」の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリック



Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、Windows NT対応の高機能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、Zip、Jaz、SuperDiskおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きなときに自動実行するスケジュールリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。



チェック!

Masty Data Backupは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」
→「Masty Data Backup 1.0」をクリック

CyberTrio-NX

概要

CyberTrio-NXは、Windows NTの利用レベルに合わせて、次の3つのモードから選べます。インストールした時の状態ではアドバンスモードに設定されています。

- ・カスタムモード :マイプログラムまたはカスタムデスクトップに登録しているアプリケーションのみを使用できます。
- ・ベーシックモード :システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・アドバンスモード :Windows NTへのフルアクセスが可能です。



チェック!!

CyberTrio-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

各モード間の移行方法

各モード間を移行するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Cyber Trio-NXメニュー」より切り替えモードを選択します。

カスタムモードからほかのモードに変更するときの、パスワードの設定を行うことが可能です。パスワードを設定することでプログラムのファイルを操作できるベーシックモードやアドバンスモードに変更することを保護します。パスワードはベーシックモード、またはアドバンスモードで設定可能です。



チェック!!

モードの変更を行う前に、必ず起動中のほかのアプリケーションを終了させ、編集集中の必要なデータなどは保存してください。

・ CyberTrio-NXのモードを変更すると、エクスプローラが起動してしまう場合は、モードを変更する前に、以下の手順で「アクティブデスクトップ」での「Webページで表示」の設定を変更してください。

- ① デスクトップの任意の場所で右クリック
- ② 表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」の左についているチェックを外す

各モードの注意事項

ベーシックモードでの注意事項

- ・ アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合には、アドバンスモードに切り替えた後、アプリケーションをインストールしてください。
- ・ タスクバー、デスクトップの設定は、工場出荷時の状態で使用してください。タスクバー、デスクトップの設定を変更して使用する場合は、アドバンスモードで使用してください。

ベーシックモードの利用範囲

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。
これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り換えてお使いください。

- コントロールパネルの以下の機能
 - ・ ネットワーク
 - ・ マルチメディア
 - ・ システム
 - ・ プリンタで「プリンタの削除」
- レジストリエディタやシステムエディタの使用

カスタムモードの利用範囲

カスタムモードは以下の点を制約しています。

- ・ スタートメニューから選択できるのは「シャットダウン」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・ マウスの右クリックは動作しません。



Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時間に本機の電源を入れ、アプリケーションを起動することができます。
2. オートログオンの設定により、起動時Windows NTのログオン画面での「ユーザ名」および「パスワード」の入力要求なしに、ログオンできます。
3. オフタイマ機能により終了時間を指定すると、自動的に電源を切ることができます。



チェック!!

- ・工場出荷時の状態ではTimer-NXはインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者にご相談ください。
- ・スーパーバイザパスワード、ユーザーパスワードを設定している場合には、BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」の「起動時のパスワード確認」を「使用しない」にしてください。

参照

「電源」(P.9)

Timer-NXの起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」画面が表示されます。



チェック!!

- Timer-NXは、Administratorの権限を持つユーザのみ使用することができます。
- Timer-NXにより、サスペンド/レジュームすることはできません。
- Timer-NXを使用するときは、表示されている日付と時刻が正しいことを確認してください。日付と時刻が正しくないときには「コントロールパネル」の「日付と時刻」を起動して日付と時刻を設定し直してください。

タイマ機能の設定を行う

タイマ機能では、本機の電源を自動的に入れる/切る、の設定/解除とそのときに起動するアプリケーションや終了時刻を指定できます。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック

2 「Timer-NX」画面で、自動的に電源を入れたい曜日をクリック

3 自動的に電源を入れたい時刻を設定する

「Timer-NX」画面に表示されている数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時刻は24時間モードです。

4 電源を入れた時に起動したいアプリケーションを指定する

「実行ファイル」ボタンをクリックするとファイルを指定する画面が表示されますので、起動したいファイルを指定してください。



チェック!

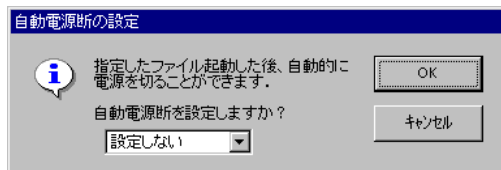
「任意指定」でプログラムファイル以外のマルチメディアファイルなどを選択することもできます。その場合は、関連付けるプログラムの設定を行ってください。関連付けるプログラムが設定されていないと、電源が入ったときに、エラーが発生します。関連付けるプログラムの設定についてはWindows NTのヘルプをご覧ください。

5 曜日、時刻などを設定したら、タイマセットボタンをクリック

ボタン上のアイコンが黄色く表示され、タイマが設定されます。もう一度ボタンをクリックするとボタンの色が元に戻り、タイマが解除されます。

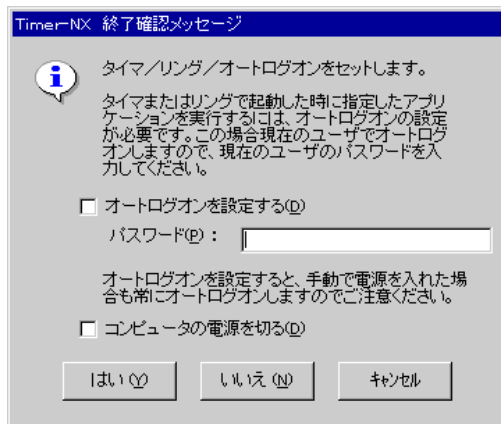
一度タイマを設定すると、もう一度タイマを解除しない限り、今回設定された曜日の同じ時刻に電源が入ります。

- 6 自動的に電源を入れた後、自動的に電源を切りたい場合は、終了時刻設定ボタンをマウスでクリック
次の画面が表示されます。



30分間隔で終了時刻を設定します。自動的に電源を入れた後、設定した時刻が経過すると電源が切れます。

- 7 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリック
「終了確認メッセージ」画面が表示されます。



8 オートログオンを設定する場合は、「オートログオンを設定する」をチェックする

パスワードには、現在ログオンしているユーザのパスワードを入力する



チェック!!

- ・「オートログオンを設定する」がチェックされていない場合、タイマ設定での起動時にWindows NTのログオン画面でログオン待ちになり、指定したファイルは起動しません。
- ・一度オートログオンを設定すると、その後はWindows NT起動時のログオン画面での「ユーザ名」および「パスワード」の入力要求なしにログオンします。オートログオンの設定を解除するには、Timer-NXを起動して「オートログオンを設定する」のチェックを外してください。

9 設定を終了

- ・ Timer-NXを終了した後もコンピュータを使う場合は、「コンピュータの電源を切る」のチェックをしていない状態で、「はい」ボタンをクリックします。
タイマがセットされ、Timer-NXが終了します。
- ・ Timer-NXを終了した後すぐに電源を切る場合は、「コンピュータの電源を切る」をチェックして「はい」ボタンをクリックします。
- ・ 「いいえ」ボタンをクリックすると、タイマをセットせずにTimer-NXを終了します。
- ・ 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマ設定の画面に戻ります。

タイマ機能を利用するときの注意

- ・ タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動操作で電源を入れた場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2～3分の誤差があります)。
- ・ 「コンピュータの電源を切る」を設定している場合、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windows NTを終了させてください。

- ・ 指定した実行ファイルが、実行ファイルのあるフォルダ以外のフォルダにある場合は、正しく起動できない場合があります。
- ・ 本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時は、タイマーで自動的に電源は入れられません。
- ・ Windows NTの終了は、Timer-NXまたは「スタート」メニューの「シャットダウン」で行ってください。それ以外の方法でWindows NTの終了を行うと、自動的に電源を入れられない場合があります。

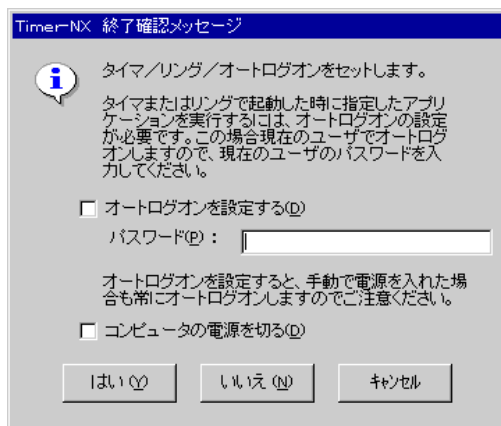
オートログオンの設定を行う

次の手順でオートログオンの設定を行います。
「オートログオンを設定する」がチェックされていると、リモートパワーオン等での起動時にWindows NTのログオン画面でのログオン待ちになります。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック

2 「OK」ボタンをクリック

「終了確認メッセージ」画面が表示されます。



3 オートログオンを設定する場合は、「オートログオンを設定する」をチェックする パスワードには、現在ログオンしているユーザのパスワードを入力する

 **チェック!!** 「オートログオンを設定する」がチェックされていない場合、タイマ設定での起動時にWindows NTのログオン画面でログオン待ちになります。

4 設定を終了

- Timer-NXを終了した後もコンピュータを使う場合は、「コンピュータの電源を切る」のチェックをしていない状態で、「はい」ボタンをクリックします。
- Timer-NXを終了した後ですぐに電源を切る場合は、「コンピュータの電源を切る」をチェックして「はい」ボタンをクリックします。
- 「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄してTimer-NXを終了します。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定の画面に戻ります。

オートログオンを設定した場合の注意

一度、オートログオンを設定すると、その後は、Windows NT起動時のログオン画面での「ユーザ名」および「パスワード」の入力要求になしにログオンします。オートログオンの設定を解除するには、Timer-NXを起動して「オートログオンを設定する」のチェックを外してください。

オフタイマ機能の設定を行う

オフタイマ機能を使うと、指定した時間に本機の電源を切ることができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリックし、「オフタイマ」ボタンをクリック
OffTimer画面が表示されます。
- 2 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
- 3 「OK」/「OFF」の各ボタンを左クリックして、Timer-NXの設定/解除を行う

「OK」ボタン	： タイマの設定を行います。 このボタンを選択した時点で電源OFFのタイマがセットされます。
「OFF」ボタン	： タイマの解除を行います。



チェック!!

オフタイマ設定が行われた場合、電源が切られず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windows NTを終了させてください。

オフタイマ機能を利用するときの注意

タイマ設定を行っても、以下の場合にはタイマによるオフタイマ機能は動作しません。

- ・ 無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
- ・ OffTimerを終了してしまったり、Windowsを終了してしまったりした場合



NEC Soft MPEG1.0

概要

メディアプレーヤーなどで、MPEG1のファイルを再生するときにデータをデコードするために必要です。

✓ **チェック!!** NEC Soft MPEG1.0は工場出荷時の状態ではインストールされておられません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」から「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」から、「NEC Soft MPEG1.0」をクリック
- 3 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したいMPEGファイルをクリック
- 4 「開く」ボタンをクリック
- 5 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

- ビデオのみのデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみコマ送りとなります。(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- 画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- メディアプレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪DPシリーズ)シリーズや、Windows版LANシリーズの文書を一太郎文書に変換をします。

操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>:\Ap¥ dpconv ¥ 説明書.jtd



チェック!!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。
- ・本プログラムは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
- ・なお、本機では文豪シリーズ及びLAN(N5200.PC-PTOS)シリーズのデータを変換することはできません。
- ・本プログラムをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイルを参照するには一太郎が必要です。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換を行いたいユーティリティをクリック

変換を行いたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

- 「DP-CARD+→三四郎8文書変換」… NECカード型データベースソフトの文書を三四郎8文書に変換します。
- 「DP-PLAN→三四郎8文書変換」… NEC表計算ソフトの文書を三四郎8文書に変換します。
- 「DP-WORD→一太郎8文書変換」… NECワープロの文書を一太郎8文書に変換します。
- 「NECAI→ATOK辞書移行ツール」… NEC AIIME(NEC AIかな漢字変換)学習単語をATOK11登録形式に変換します。



Acrobat Reader

概要

PDF(Portable Document Format)形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。



チェック!

Acrobat Readerは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者へ連絡してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリック
Acrobat Reader の画面が表示されます。

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。液晶ディスプレイに内蔵されているOSD機能(画面調節用表示機能)と組み合わせて利用していただくことにより、液晶ディスプレイの画面調節が簡単に行えます。



チェック!!

- ・液晶ディスプレイ調整ツールは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者にご相談ください。
- ・液晶ディスプレイの調整方法については、液晶ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。
- ・CRTセットモデルでは、ご使用になれません。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリック
調整パターンとガイダンスが表示されます。

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、なにかトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

「トラブルを解決するには」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

なにか疑問があるときも、ここを読んでください。

この章の内容

トラブルが起きたとき	126
トラブルを解決するには(ヒント)	127
お問い合わせの前に (トラブルチェックシート)	129
はじめて電源を入れたら·····	131
電源を入れたが·····	133
電源を切ろうとしたが·····	137
スタンバイ(サスペンド/レジューム) 機能を使おうとしたら·····	139
パソコンがこわれそう·····	141
画面がおかしい·····	143
画面の設定を変えようとしたら····· (Windows 98/95モデル)	144
ファイル、フォルダがおかしい·····	149

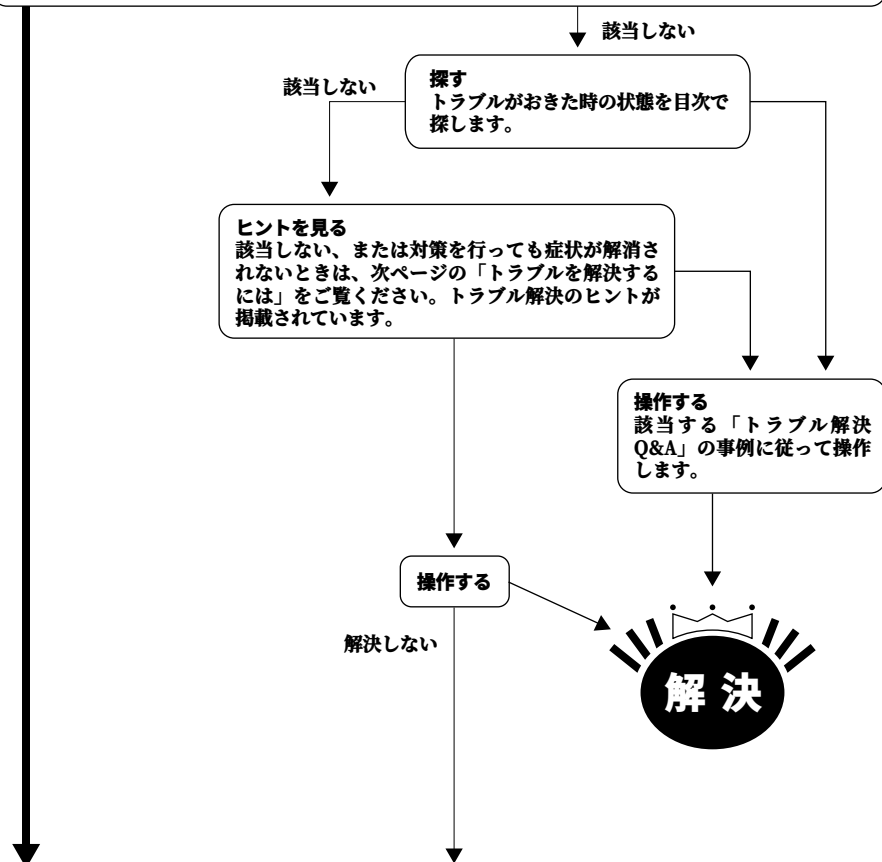
マウスを動かしても·····	153
文字を入力しようとしたら·····	157
ファイルを保存しようとしたら·····	160
LAN(ローカルエリアネットワーク) に接続しようとしたら·····	161
印刷しようとしたら·····	163
ハードディスクを使っていたら·····	165
アプリケーションを使っていたら·····	170
タイマ機能を使おうとしたら·····	176
日付の設定を変えようとしたら·····	177
コンピュータウイルス対策について	178
その他	181
トラブルを予防するには·····	183

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手掛かりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音が出た場合、すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。



システム管理者、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

トラブルを解決するには(ヒント)

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせで使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

◆ 用語 フリーズ(ハングアップ)

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなる。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっとほかのものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかわかります。

● Windowsのヘルプを使う

「ヘルプの表示方法」(P.53)をご覧ください。

● 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをお読みください。

● ほかのマニュアルやヘルプ、Readmeファイルを見る

あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

また、アプリケーションには、Readmeファイルがついていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、読みください。

本機には、次のようなREADMEファイルがあります。なお、CD-ROMの場合は、ネットワーク上にある任意のコンピュータのCD-ROMドライブを、ネットワークドライブに割り当ててください。

98/95 本製品のご利用にあたっての補足説明……「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」

Windows 98/95についての一般情報……C\WINDOWS\GENERAL.TXT

NT... 本製品のご利用にあたっての補足説明……「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」

Windows NTについての追加情報……C\WINNT\SYSTEM32\README.WRI

Windows NT 4.0の本機対応ドライバについての補足事項……

「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」内の、
\\NT40\README.TXT
Service Pack 3の補足説明……「Service Pack 3」内の、\\README.TXT

● NECのホームページを見る

アドレスは、<http://www.nec.co.jp/98/>です。

● 「トラブルチェックシート」に記入する

どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。
お問い合わせの時に役立ちます。

● 問い合わせる

NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先からのほうが適切な回答を得られます。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速な答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名	
製造番号 (保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
ハードディスクの容量	_____ GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	_____ MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	
	品名・型名 (メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	

■ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows NT (バージョン _____)
☐ Windows 95	
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するときに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動する
ときに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

はじめて電源を入れたら…

ご購入後、はじめてパソコンを使うときは、まず設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを押して電源を入れてください。

98/95 再度電源を入れるとスキャンディスクが実行され、セットアップが実行される。

Windows 95モデルの場合は、「どれかキーを押すとScanDiskを実行します」と表示されるので、何かキー([Enter]など)を押してください。スキャンディスクによりシステムに異常がないか検証が始まります。(Windows 98の場合、自動的にスキャンディスクが実行されるので、キーを押す必要はありません。)

スキャンディスクで異常が発見されなかった場合は、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、システム管理者に連絡してください。

NT... 再度電源を入れるとCHKDSK(チェックディスクプログラム)が実行され、セットアップが続行される。

Windows NT 4.0のセットアップは、正常に作業が終了しなかった時のためにいくつかの保護機能を備えています。CHKDSKは停電によって電源が切れた場合や接続されている機器を正しく検知できず、やむを得ず電源を切った場合、Windows NT4.0のいくつかのファイルが破損してしまった場合などに機能します。電源を入れてCHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。

CHKDSKの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、システム管理者に連絡してください。



セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。



「Invalid system disk Replace the disk…」と表示される

ハードディスクがフォーマット(初期化)されていて、システムが入っていない状態です。システム管理者へ連絡してください。



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windowsのセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分~十数分間、画面が止まったようになることがあります。電源は切らないでください。

Windowsのセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。「セットアップの途中で誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で問題を解決してください。

電源を入れたが…

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルにしたがって、電源を入れてください。

それでも、点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧ください、ディスプレイの電源ケーブルを接続しなおしてください。

もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』にしたがって、電源ケーブルを接続しなおしてください。

電源ケーブルを接続しなおして、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポートガイド』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポートガイド』



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRTディスプレイに添付のマニュアルを見て、画面を消磁してください。

メモ

CRTディスプレイは強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、CRTディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁(デガウス)を行ってください。



電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

次の操作をしてみてください。

- ① マウスを動かすか、キーボードのキーを何か([Shift]など)を押す
- ② スリープボタンを押す
- ③ それでも画面になにも表示されない場合は、電源スイッチを押す

電源を入れてしばらくすると画面がまっくらになる場合、次の原因が考えられます。

・ BIOSセットアップメニューによるスタンバイ(サスペンド)状態

本機では、指定された時間内に何も操作しなかったり、ハードディスクなどへのアクセスがなければ、スタンバイ(サスペンド)状態にする機能があります。工場出荷時の状態では、自動的にスタンバイ(サスペンド)状態にする設定はされていません。この設定は「BIOSセットアップメニュー」で変更できます。

システム管理者にご相談ください。

この場合は、上記の手順①または②でスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)し、元の状態に戻ります。

98/95 ・ Timer-NXによるスタンバイ(サスペンド)状態

Timer-NXのタイマプログラムやオフタイマー機能を利用すると、時間を指定してスタンバイ(サスペンド)状態にすることができます。

システム管理者にご相談ください。

この場合は、上記の手順①または②でスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)し、元の状態に戻ります。

・ Timer-NXにより、電源が切れた

Timer-NXのタイマプログラムやオフタイマー機能を利用すると、時間を指定して本体の電源を切ることができます。

システム管理者にご相談ください。

この場合は、上記の手順③で電源が入ります。

98... ・ ディスプレイの省電力機能が働いた

ディスプレイセットモデルに添付されているディスプレイは、省電力機能に対応しています。「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」で省電力の設定をすると、設定した時間にディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。

この場合は、手順①で元の状態に戻ります。



Windowsが起動しない

システムの設定が正しくない可能性があります。

システム管理者へ連絡してください。



Winodwsの起動に時間がかかる

98... TCP/IPプロトコル使用時においてWindows 98の起動やスタンバイ状態からの復帰の時間が長いことがあります。

その場合は、次の方法のいずれかを行ってください。

- ・ ネットワーク上に正常にDHCPサーバを接続する
- ・ TCP/IPプロトコルにIPアドレスを設定する

- ・ ネットワークの設定からTCP/IPを削除する
- ・ 次の手順で一時的にネットワークを無効にする(ネットワークに未接続の場合)

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
- ②「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「NEC PK-UG-X006 (PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter」をダブルクリック
- ③「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリック
- ④「閉じる」ボタンをクリックし、Windowsを再起動する



パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される(Windows NTモデル)

入力したパスワードが間違っていないですか？

正しいパスワードを入力してください。Windows NT 4.0では、パスワードは大文字、小文字を区別します。パスワードを入力する際は、キーボードの【CapsLock】がロックされていないかどうか注意してください。

パスワードの入力時にテンキーを使用していませんか？

Windows NT 4.0では、ログオン時のパスワード入力にキーボードの右端にあるテンキーは使用できません。テンキー以外のキーで入力してください。



別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった

周辺機器の接続については、システム管理者にお問い合わせください。



キーボードエラーが表示される

- ① キーボードと本体の接続を確認してください。

液晶ディスプレイにキーボードを接続している場合は、キーボードと液晶ディスプレイの接続、液晶ディスプレイと本体を接続しているUSBケーブルの接続を確認してください。

参照

接続の確認→『はじめにお読みください』

- ② 電源の投入順序を確認してください。

参照

電源の投入順序→「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)、『はじめにお読みください』

電源を切ろうとしたが…

本機の電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データを壊してしまうことがあります。



電源を切れない。強制的に電源を切りたい

本機の電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」にしたがってください。

正しい電源の切りかた

98/95 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「Windowsの終了」の画面が表示されたら、「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」をクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。

NT… 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックし、「Windowsのシャットダウン」の画面が表示されたら「シャットダウンする」を選択し、「OK」(または「はい」)をクリックします。

しばらくすると自動的に電源が切れます。

この方法で電源を切れないときは、

98/95 アプリケーションに異常が起きていると考えられます。【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押して、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。プログラム名の後に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」をクリックします。(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません。)もう一度、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」を選んでください。
この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがってください。

NT… アプリケーションに異常が起きていると考えられます。【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、「Windows NTのセキュリティ」を表示させて、ここからシャットダウンができるかどうかを試してください。

この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押しつづけてください。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直して、Windowsを起動させ、再度「正しい電源の切り方」の手順で電源を切ってください。



強制的に電源を切った場合は電源を入れ直して、Windowsを起動した後もう一度正しい手順で電源を切ってください。



ワープロなどで文書を保存せずにアプリケーションソフトを終了した。または、電源を切った。保存していないデータを消してしまった

アプリケーションを終了したり、電源を切ると、ハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。



万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存しておくようにしましょう。

スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能を使おうとしたら…

本機には、作業を中断するときなどに作業内容を記憶して、パソコンの一部の電源を切る省電力機能があります。本気で使用できる省電力機能の中には、本機をスタンバイ(サスペンド)状態にする機能や、本機をスタンバイ(サスペンド)状態から復帰(レジューム)させる機能があります。

参照 スタンバイ機能→「電源」(P.9)



スリープボタンを押してもスタンバイ(サスペンド)状態になる前の状態の画面が表示されない

アプリケーションや周辺機器はスタンバイ(サスペンド/レジューム)機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ(サスペンド/レジューム)機能は使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。

スタンバイ(サスペンド)状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ(サスペンド)状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、スタンバイ(サスペンド)状態になる前の内容は消えてしまいます。

スタンバイ(サスペンド)状態中やディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ(サスペンド)状態中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、スタンバイ(サスペンド)状態になる前の内容は消えてしまいます。



自動的にスタンバイ(サスペンド)状態になってしまう

自動的に電源が切れた

自動的に画面がまっくらになる

本機では、指定された時間内に何も操作しなかったりハードディスクなどへのアクセスがなければ、自動的にスタンバイ(サスペンド)状態にしたり、本体の電源を切る機能があります。設定を変更したい場合は、システム管理者へ連絡してください。



設定した時間にシステムスタンバイが実行されない

- 98... ACPIモードにて本機を使用中に、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックすると表示される「システムスタンバイ」の設定時間を、「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行された時点からの時間となります。

従って、下記のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは、「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→15分後

「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合は、次のように設定してください。

例1: 「システムスタンバイ」→15分後

「モニタの電源を切る」→5分後

例2: 「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→なし

パソコンがこわれそう…



本機から煙が出たり、異臭がしたりする
本機が、手で触れられないほど熱い
本機から異常な音がする

そのほか、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の方法で対応してください。

- ① すぐに、電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜く
- ② ご購入元、最寄りのBit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションに相談する

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



チェック!

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

「本機のお手入れ」(P.190)にしたがって、柔らかい布などで拭き取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポートガイド』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、システム管理者、またはご購入元にご相談ください。



チェック!

そのまま使用すると、発煙、発火や故障の原因になります。

画面がおかしい…

参照 「ディスプレイ」(P.40)



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき「ディスプレイ」(P.40)と、ディスプレイに添付のマニュアルにしたがって、表示位置やサイズを見やすく調節してください。

ほかのディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節することができます。詳しくはディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



コマンドプロンプト、MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった

[Alt]を押したまま[Enter]を押してください。



デスクトップ画面が変わってしまった

Internet Explorer 4.01はデスクトップをActive Desktopの設定にすることができます。従来のWindowsデスクトップに戻すには、マイコンピュータの「表示」メニューの「フォルダオプション」の「全般」タブの「設定」ボタンをクリックし、「Active Desktop」の「従来のWindowsデスクトップを使用する」を  (オン)にします。



画面が流れるように表示される

一部のDDCディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイル(Monitor.inf)がないためにディスプレイの同期が取れず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイル(Monitor.inf)を入手し、セットアップしてください。



画面の設定を変えようとしたら… (Windows 98/95モデル)

ディスプレイの設定は、「コントロールパネル」の「画面」で行います。

 **参照** Windows 98/95の「ヘルプ」、「ディスプレイ」(P.40)



ディスプレイの省電力機能が設定できない

- 98... ディスプレイの省電力機能は「コントロールパネル」→「電源の管理」の「電源設定」で設定します。
- 95... ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。

本機を別売のディスプレイに接続して使っているときは、ディスプレイが省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応しているか確認してください。

省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応していないディスプレイを接続しているときは、ディスプレイの省電力機能の設定はできません。

セットモデルのディスプレイは、省電力機能に対応しています。

別売のディスプレイを使うときは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

- 98... 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックすると、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面が開きます。「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。ディスプレイセットモデル用のディスプレイの種類は、「ディスプレイ」(P40)にしたがって指定してください。そのほかのディスプレイについては、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

95... 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」ボタンをクリックすると、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面が開きます。「モニター」タブに、「モニター不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。ディスプレイセットモデル用のディスプレイの種類は、「ディスプレイ」(P.40)にしたがって指定してください。そのほかのディスプレイについては、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

95... 「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」を確認してください。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」をダブルクリックして、「電源のプロパティ」の「パワーマネージメント」シートで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをクリックして ☒ にしてください。ここが ☐ になっていると、Windows 95で電源の管理ができません。



「ディスプレイの種類が指定されていません…」というメッセージが表示される

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

98... 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックすると、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面が開きます。「モニター」タブに、「モニター不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。ディスプレイセットモデル用のディスプレイの種類は、「ディスプレイ」(P.40)にしたがって指定してください。そのほかのディスプレイについては、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

95... 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」ボタンをクリックすると、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面が開きます。別売のディスプレイをご使用の場合、「モニター」シートに、「モニター不明」と表示されることがあります。

この場合は、「変更」ボタンをクリックし、「デバイスの選択」画面で使っているディスプレイの種類を指定してください。

参照 ▶ ディスプレイに添付のマニュアル



表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグ&プレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度(1280×1024ピクセル)など、サポートしている表示モードの一部を選択できないことがあります。次の操作で解像度が選択できるようになります。

- 98... ①ディスプレイを接続し、Windows 98を起動する
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示される場合があります。
- ②「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック
- ③「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック
- ④「オプション」の「プラグアンドプレイモニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして ☐ (オフ)にする
- ⑤「OK」ボタンをクリックし、順に「OK」ボタンをクリックして、コントロールパネルを閉じる
- ⑥「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリック
「Windowsの終了」の画面が表示されます。
- ⑦「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。
- ⑧「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック
- ⑨「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリック



チェック!! 「モニタ不明」の場合は手順⑬へ進んでください。

- ⑩「次へ」ボタンをクリック
- ⑪「検索方法を選択してください。」というメッセージが表示されたら「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

⑫「すべてのハードウェアを表示」を選択する

⑬「デバイスドライバの更新ウィザード」一覧より、「製造元」と「モデル」を選択する

メモ

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で「(標準モニタの種類)」、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

⑭「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリック

⑮「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリック

⑯「OK」ボタンをクリック

これでディスプレイの設定が完了しました。

再起動後に、高解像度を選択できるようになります。

95... ①ディスプレイを接続し、Windows 95を起動する

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示される場合があります。

②「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「ディスプレイの詳細」タブをクリック

③「詳細プロパティ」ボタンをクリックし、「モニター」タブをクリック

④「オプション」の「プラグアンドプレイモニターを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして ☐ (オフ)にする

⑤「OK」ボタンをクリックし、順に「OK」ボタンをクリックして、コントロールパネルを閉じる

⑥「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリック
「Windowsの終了」の画面が表示されます。

⑦「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。

⑧「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「ディスプレイの詳細」タブをクリック

- ⑨「詳細プロパティ」ボタンをクリックし、「モニター」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリック

間違ったディスプレイが選択されていた場合、「すべてのデバイスを表示」のボタンをクリックすると、同じ画面を表示することができます。

- ⑩「重要」タブをクリック

- ⑪「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選ぶ

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(スタンダードモニター)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選択します。

参照 ▶ ディスプレイの製造元とモデル→ディスプレイ添付のマニュアル

- ⑫「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリック

- ⑬「OK」ボタンをクリック

- ⑭ Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、ほかのアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリック再起動後に、高解像度を選択できるようになります。

ファイル、フォルダがおかしい…

ファイルが見つからないときや、間違っって消してしまったときは、ここを見てください。



ファイルが見つからない

ファイルがどのフォルダにはいつているかわからないとき

わからないときは、「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」で探してください。



フォルダやファイルを保存した日付がわかっているときは、「検索」の「日付」タブで検索できます。

ファイルがどのフォルダにはいつているかわかっているとき

ファイルを表示しないように設定していませんか？

マイコンピュータやエクスプローラ(Windows NTエクスプローラ)→「表示」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの「詳細設定」→「ファイル表示」で「隠しファイルとシステムファイルを表示しない」のチェックボックスの☒ (オン)をクリックして☐ (オフ)にしてください。

ファイルのアイコンが、ほかのアイコンの下に重なって見えなくなっていますか？

そのフォルダのウィンドウの「表示」の「等間隔に整列」をクリックし、アイコンを並べ直してください。



必要なファイルを消してしまった

「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください。

残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルをクリックして選択し、「ごみ箱」の「ファイル」メニューをクリックし、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。

メモ

Windowsでは、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違ってフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。

ただし、フロッピーディスクやMOディスク、およびネットワーク上に保存されているフォルダやファイルを削除したときは、「ごみ箱」には保管されていないので、元に戻すことはできません。



長いファイル名をつけられない。表示できない

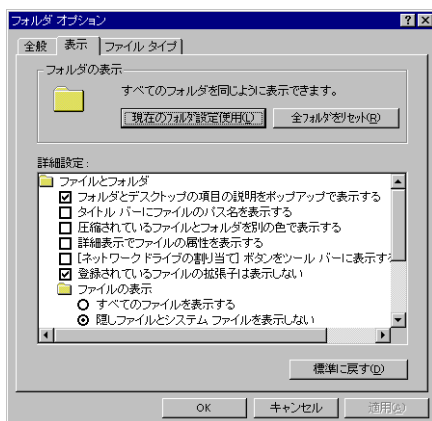
MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98/95/NT用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98/95/NTでMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前を付けることはできません。



ファイルの拡張子が表示されない

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」メニューの「フォルダオプション」の「表示」タブの、「詳細設定」の「ファイルとフォルダ」で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックマークを☐ (オフ) にしてください。



文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源をオフにすると、ハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万一に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくようにしましょう。



システムファイルチェッカーを使っていたらファイルが壊れていると表示された

工場出荷時直後の状態でも「システムファイルチェッカー」で変更のあったファイルをスキャンした場合、USER.EXEが壊れている旨のメッセージが表示されますが、実際にはファイルは壊れていません。

メッセージが表示された場合は、以下の手順でファイルを復元後、チェックを継続してください。

- ①「ファイルを復元する」を選んで「OK」ボタンをクリック
- ②「ファイルの復元」の画面で「復元元」に「C:\WINDOWS\OPTION\CABS」と入力する
- ③「ファイルの保存先」が「C:\WINDOWS\SYSTEM」になっていることを確認して「OK」ボタンをクリック
「バックアップファイル」の画面が表示されます。
- ④バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定して「OK」ボタンをクリック
バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックします。
- ⑤「システムファイルのスキャンが終了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- ⑥再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

マウスを動かしても…

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは、    など、形を変えることがあります。

参照 → マウスの設定を変えるには→「マウス」(P.37)



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

マウスとキーボード、およびキーボードと本体との接続を確認してください。

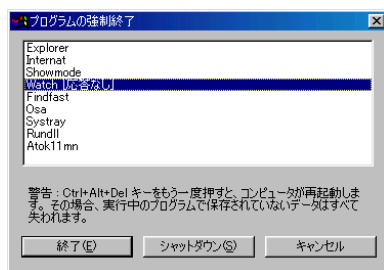
『はじめにお読みください』をご覧になり、マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続しなおしてください。マウスのコネクタがキーボードから抜けていたり、キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

強制終了の方法

98/95 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」が表示されます。プログラム名の後に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックして、「終了」ボタンをクリックします。



「プログラムの強制終了」が表示されないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続けて、パソコンの電源を強制的に切ってから、電源スイッチを押して再度電源を入れます。

NT... キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押すと、「Windows NT のセキュリティ」が表示されます。「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。「Windows NT タスクマネージャ」が表示されるので「アプリケーション」タブをクリックします。



「状態」に「応答なし」と表示されているタスクを選んで、「タスクの終了」ボタンをクリックします。

「Windows NT タスクマネージャ」が表示されない場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けて、本機の電源を強制的に切ってから、もう一度電源を入れてください。



Windowsセットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



マウスの動きが悪い

マウスの内部が汚れていませんか？

「マウスのクリーニング」(P.191)をご覧ください、マウスの内部を掃除してください。



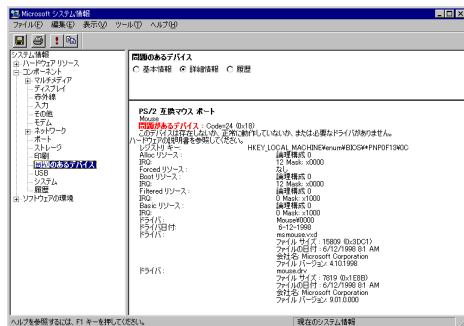
デバイスマネージャの「PS/2互換マウスポート」「スタンダードPS/2ポートマウス」のところに黄色い「！」がついている

98/95 USB接続キーボードをご使用の場合は、「コントロールパネル」→「システム」の「システムのプロパティ」の画面の「デバイスマネージャ」タブの画面の中で、マウスの下に「PS/2互換マウスポート」「スタンダードPS/2ポートマウス」のところに黄色い「！」がついていますが、異常ではありません。



98... 「システム情報」→「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されている

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「システム情報」をクリックし、「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されますが、異常ではありません。



文字を入力しようとしたら…

文字は、キーボードから入力します。

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、[Alt]を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオンにします。

日本語入力システムには、MS-IME98(Windows 98モデル)、またはMS-IME97(Windows95/NTモデル)が用意されています。

参照

キーボードの設定を変えるには→「キーボード」(P.26)



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧になり、キーボードと本体を接続しておしてください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、アプリケーションで保存していなかった作業中のデータはなくなります。次に、キーボードと本体との接続を確認してください。

強制終了の方法

「マウスを動かしても…」(P.153)をご覧ください。



キーボードで押したキーと違う文字が表示される

キーボードの  (Caps Lock) ランプが点灯していませんか？

この状態では【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、ランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

日本語入力モードになっていませんか？

英字を入力したいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオフにします。



ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

日本語入力システムはオンになっていますか？

日本語入力システムを次のどちらかの方法でオンにしてください。

- キーボードで【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押す。
- マウスでタスクバーの  (日本語入力インジケータ) をクリックして、「日本語入力-オン」をクリックする。

参照

日本語入力システムの種類を切り替えるには→「キーボード」「日本語入力」(P.33)

日本語入力システムそれぞれの設定の変更→日本語入力システムのヘルプ



「」(チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



「」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

98... 文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「文字コード表」を開きます。

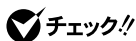
95/NT 文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「文字コード表」を開きます。



文字コード表の文字をクリックして、「文字の選択」ボタンをクリックした後「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選択します。

参照

文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ



チェック!

ご使用になるアプリケーションによっては、貼り付けた先でフォントを再指定する必要があるものがあります。

ファイルを保存しようとしたら…

文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照 「ハードディスクドライブ」(P.44)



保存できない

◆ハードディスクに保存しようとしたとき

ディスクの空き容量を確認してください。

「ハードディスクの空き容量が足りない」にしがって空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



ファイル名の後ろに、入力していない文字「.TXT」「.DOC」などがつく

これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的につけられたためで、異常ではありません。

おもな拡張子

拡張子には、次のようなものがあります。

.TXT	テキストファイル
.DOC	テキストファイル、 Microsoft WORDの文書データ
.BMP、.JPG、.TIF	画像データ
.HLP	ヘルプファイル
.WAV	WAVE形式の音声データ
.EXE、.COM	実行可能プログラム



長いファイル名をつけられない

Windows 98/95/NTでは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて半角で255文字までの「長いファイル名」を使えますが、MS-DOSやWindows 3.1のソフトウェアを使っているときは、長いファイル名は使えません。

参照 「長いファイル名をつけられない。表示できない」(P.150)

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら…

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。



ネットワークに接続できない

接続後はデスクトップの「ネットワークコンピュータ」からもLANを使用することができます。この画面には本機と同じネットワークに接続しているほかのコンピュータが表示されます。

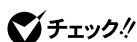
ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。

接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。



チェック!

ネットワークコンピュータにネットワーク上コンピュータが表示されるまでには時間がかかることがあります。その場合はしばらく待ってから「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。



共有ファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、お客様がご使用になるコンピュータとほかのコンピュータとファイルを交換するためには設定が必要になります。

お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていない

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続されたほかのコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、共有サービスが追加されているか確認します。

共有したいドライブまたはフォルダを右クリックし、表示させたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



チェック!!

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。

印刷しようとしたら…

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。

参照

プリンタの接続と設定方法→プリンタに添付されているマニュアル



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、はいていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって、本体とプリンタを接続しなおしてください。

プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって用紙やトナー、インクを補充してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルにしたがって設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 ▶ プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル、Windowsのオンラインヘルプ

プリンタドライバの設定を確認してください

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ▶ プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル、Windowsのオンラインヘルプ

本機のシステム設定を確認してください

パラレルポート(プリンタ)に関する設定があります。システム管理者に連絡してください。

プリンタがLAN接続されていますか？

プリンタがLAN接続されている場合は、ルータ、およびマルチポートリピータの電源を確認してください。

ハードディスクを使っていたら…



ハードディスクの動作速度が遅い

98/95 ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。

データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには「デフラグ」を行ってください。

参照

デフラグの実行方法→「ハードディスクドライブ」(P.44)



ハードディスクに障害がおきた

軽い障害であれば、スキャンディスクプログラム(98/95)または、エラーチェックプログラム(NT)を使って修復することができます。

参照

スキャンディスク、エラーチェックの実行方法→「ハードディスクドライブ」(P.44)



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

98... ディスククリーンアップを使う

ディスククリーンアップを実行すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。ディスククリーンアップはハードディスクの内容を検索し、一時ファイル、インターネット一時ファイル、および削除しても影響のない不要なプログラムファイルの一覧を表示します。ディスククリーンアップの実行方法は、次の通りです。

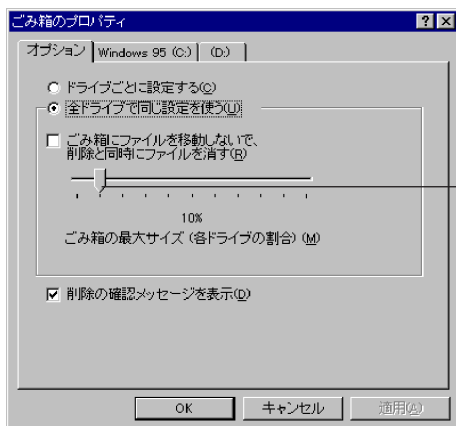
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」をクリック

「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」を右クリックして、「ごみ箱を空にする」をクリックします。

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」を右クリックし、「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」で行います。



ここをドラッグして最大サイズを調整する

TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、アプリケーションの終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、Windowsフォルダの中のTEMPフォルダに作られます。

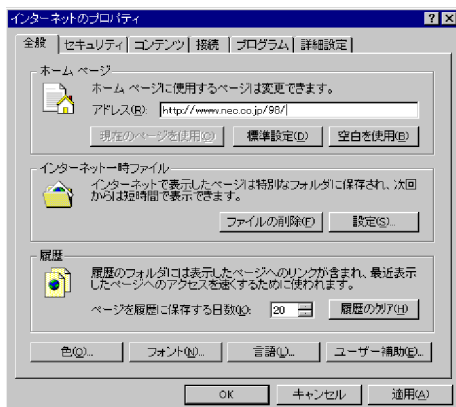
なお、アプリケーションの実行中には、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。

メモ

インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する方法
インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き容量を増やすことができます。

〈Internet Explorer 4.01をご利用の場合〉

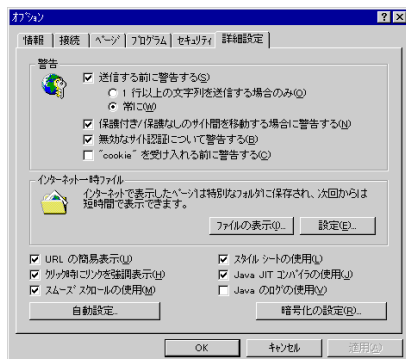
- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「インターネット」をダブルクリック
- ②「全般」タブをクリックし「インターネット一時ファイル」の「ファイルの削除」ボタンをクリック



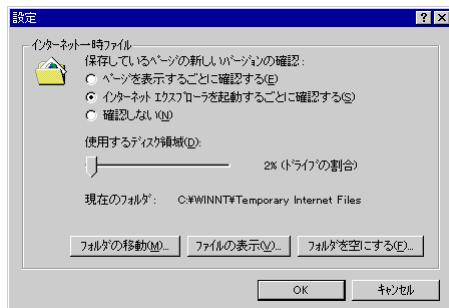
- ③「フォルダのすべてのファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリック
- ④「OK」ボタンをクリック

NT... 〈Internet Explorer 3.02をご利用の場合〉

- ①「インターネットエクスプローラ」を起動する
- ②「表示」メニューの「オプション」を選択する
- ③「詳細設定」タブをクリックし「インターネット一時ファイル」の「設定」ボタンをクリック



- ④「フォルダを空にする」ボタンをクリック



- ⑤「フォルダのすべてのファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- ⑥「OK」ボタンをクリック

98/95 「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き容量を増やすことができます。

参照 ドライブスペース3→『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』
「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーボード」タブで
「ドライブスペース3」

インストールされているアプリケーションソフトを削除する

すぐに使わないアプリケーションソフトをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。



ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」を右クリックして、「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。



領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,048,576バイト、1Gバイト=1,073,741,824バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

アプリケーションを使っていたら…

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



起動しなくなった

そのアプリケーションはスタンバイ機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーション使用時には、スタンバイ機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

参照

スタンバイ機能→「電源」(P.9)

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

すでに複数のほかのアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。



文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた

「ファイル、フォルダがおかしい…」の「文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた」をご覧ください。



文字を入力できない

「文字を入力しようとしたら…」をご覧ください。



削除を中断したら使用できなくなった

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままでは、アプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。



本機で動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



「フルカラーにするように」というメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。このときは、「ディスプレイ」(P.40)にしたがって、画面の表示色を変更してください。



別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。



動作が非常に遅くなった

ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため、ハードディスクの空き領域が減り、Windowsの動作が遅くなった可能性があります。

Windowsのインストールされているハードディスクのアイコンにマウスポインタを合わせて「プロパティ」を選択し、空き領域を確認してください。空き領域が100MBより少なくなっている場合は、必要のないデータを削除したり、アプリケーションを別のハードディスクにインストールしてCドライブから削除したりしてください。

参照

「ハードディスクを使っていたら…」 「ハードディスクの空き容量が足りない」 (P.165)



海外製Windowsアプリケーションを利用すると文字が正しく表示されない。

英語モードフォントに切替える必要がありますので、システム管理者へお問い合わせください。



このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

Windows 98モデルでは、本機にインストールされているOSのみです。
Windows 95/NTモデルでは、本機にインストールされているOS以外にWindows 98も使用することができます。



Windows 3.1対応ソフトウェアが起動しない。使っていたら本体が反応しなくなった

以下の内容はWindows 3.1対応アプリケーションが正常に動作しないときの対処方法です。



チェック!!

Windows NTモデルの場合は、Windows 3.1対応のソフトウェアを利用することはできません。

お使いになっているWindows 3.1対応ソフトウェアの動作環境を確認してください。

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 98/95では動作しないものがあります。詳しくはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

MS-IME98(MS-IME97)を使っていますか？

MS-IME98(MS-IME97)を標準でご使用の状態ではWindows 3.1用に開発されたアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。次の方法でWindows 3.1対応アプリケーションのWindows 98/95への対応を行ってください。なお、通常は、Windows 98/95への対応を行う必要はありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

また、Windows 3.1対応アプリケーションのWindows 98/95対応は1つのアプリケーションに対して、1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合はそのアプリケーションのために、再度次の方法を行う必要があります。

WIN.INIを変更する前にWIN.INIのコピーをとっておきます。

次の方法ではWIN.INIを変更しますので、「手順」を実行される前に、Windows 98/95のフォルダ(既定値では、C:\WINDOWS)にあるWIN.INIのコピーを取っておくことをおすすめします。

以下の手順でクイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順⑥へ進んでください。

- ①「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- ②「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面の、「Windows ファイル」タブをクリック
- ③「ファイルの種類」の中から「アクセサリ」をクリックし、「詳細(D)」ボタンをクリック
- ④「ファイルの種類」の中から「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックしてチェックし、「OK」ボタンをクリック
- ⑤「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面で、「更新(A)」ボタンをクリック
クイックビューアのセットアップが行われます。
- ⑥ Windows 98/95のデスクトップの画面を表示して「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリック
- ⑦ 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのあるドライブまたは、フォルダをダブルクリックし、実行プログラムのアイコンを右クリック
セットアップ中に症状が起きた場合は、セットアッププログラムのアイコンを右クリックしてください。
- ⑧ メニューから、「クイックビューア」をクリック
選んだWindows 3.1対応アプリケーションの情報(Technical File Information)を表示するウィンドウが開きます。
- ⑨ 「Module Name:」の右側に表示されている文字をメモする
ここでは仮に「ABC」とします。
- ⑩ 「スタート」→「ファイル名を指定して実行(R)…」をクリック
- ⑪ 「名前(O)」欄に「WIN.INI」と入力

- ⑫「OK」ボタンをクリック
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- ⑬「検索(S)」メニューから「検索(F)」をクリック
「検索」ダイアログが開きます。
- ⑭「検索する文字列(N):」欄に「[Compatibility]」と入力する
- ⑮「次を検索(F)」ボタンをクリック
本文内の「Compatibility」が選択されます。
- ⑯「検索」ダイアログ内の[キャンセル]ボタンをクリック
- ⑰キーボードの[End]を押す
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- ⑱キーボードの[Enter]を押す
新しい行が作成されます。
- ⑲手順⑨でメモした文字(ここではABC)を入力する
- ⑳手順⑲で入力した文字に続けて「=0x00400000」と入力する(xはアルファベット小文字のエックスです)
手順⑲で作成された行に以下の内容が表示されます。
ABC=0x00400000
- ㉑「メモ帳」の「ファイル(F)」メニューから「上書き保存(S)」をクリック
- ㉒「メモ帳」の「ファイル(F)」メニューから「メモ帳の終了(X)」をクリック
メモ帳が終了します。

Windows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。



アプリケーションソフトが突然止まった(フリーズした)

Windowsでアプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。パソコンが故障したわけではありません。

停止してしまったアプリケーションソフトだけを強制的に終了させることで、Windowsの操作を続けることができます。

「強制終了の方法」(P.154)にしたがって、アプリケーションソフトを終了させてください。



Internet Explorer 3.02を使いたい。

Windows 98モデルでは、Internet Explorer 3.02は利用できません。Windows 95/NTモデルをご利用の場合は、システム管理者にご相談ください。

タイマ機能を使おうとしたら…



Timer-NXで電源が入らない

Timer-NXを設定しても、自動的に電源が入らない。

電源ケーブルの接続を確認します。

電源ケーブルをACコンセントに接続します。

パスワードが設定されているか確認します。

ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューなどで、パスワードを設定すると、起動時にパスワードを入力しないと、Windowsが起動しくなります。この場合はBIOSセットアップメニューの「起動時のパスワード:使用しない」に設定してください。

98… ACPIモードになっていませんか？

Winodws 98モデルの場合、ACPIモードになっていると、Timer-NXで電源を入れることができません。APMモードに切り替えてください。

参照

モードの確認、モード切り替え→「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)



Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？

データの保存など、終了時になにか操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

Timer-NXの設定を確認します。

Timer-NXで「オン」を設定した時間に、すでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時間がきても、電源は切れません。

参照

「PART3または4 アプリケーションの概要」の「Timer-NX」(P.78)または(P.110)

日付の設定を変えようとしたら…

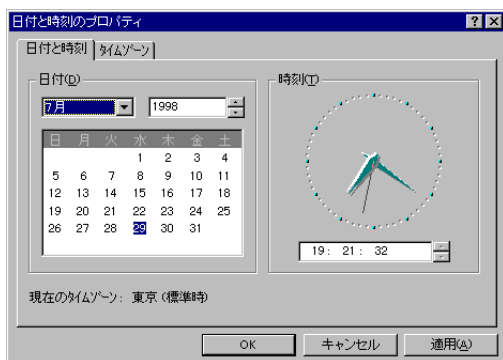
日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。

参照 ▶ 日付と時刻の設定→「コントロールパネル」の「日付と時刻」



日付と時刻を合わせたい

「コントロールパネル」の「日付と時刻」を開いて、設定してください。



メモ

本機内蔵のカレンダ時計は、電池により電源が供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。



コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないで、データのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。ここでは、ウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法と、検査するためのアプリケーションについて説明しています。



コンピュータウイルスとは…

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

用語 ウイルス

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入り込んだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病といいます。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、ほかの実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることでほかのデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ 出所が不明なプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

本機には「VirusScan」が用意されています

NCSA認定スキャナであるVirusScanは、「イン・ザ・ワイルド」ウイルスを検出することができます。認定状況については、NCSAのWebサイト(<http://www.ncsa.com>)を参照してください。

VirusScanを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックさせることをおすすめします。



「Virus Scan」は工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、システム管理者にご相談ください。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスク、MOディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先(IPA)については、下記をご覧ください。

本部: 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301

FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



西暦2000年問題について知りたい

本機は、西暦2000年問題に対応していますが、アプリケーションによっては問題が発生することが考えられます。

アプリケーションが西暦2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」で、西暦2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



用語 西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。

西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。

これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機に添付されているアプリケーションは西暦2000年問題に対応しています。



このパソコンを海外で使いたい

海外では使えません。



このパソコンを破棄したい

このパソコンを破棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、各地方自治体にお問い合わせください。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオやほかの電子機器は、パソコンから遠ざけてください。また、パソコンは、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『安全にお使いいただくために』、『活用ガイド』は、購入することができます。なお、在庫状況によってはご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法 : 電話、FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌日営業日以降となります。
- ・ お申し込み先 : NEC PCマニュアルセンター
(電話)03-5476-1900
(FAX)03-5476-1967
営業時間:月～金曜日
AM10:00～12:00 PM1:00～4:00
(土日祝日年末年始を除く／FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。

ホームページアドレス:<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、再セットアップに必要なプロダクトキーが印刷されているマニュアル(『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』など)は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルの書名や本機の型名、プロダクトキーなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

トラブルを予防するには…

●電源は、正しい順序で入れる／切る

「PART1 本体の構成各部」の「電源」をご覧ください。

●大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやMOディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず、再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

バックアップをとる方法は、「Masty Data Backup」(P.69、107)をご覧ください。

98... ●メンテナンスウィザードを使って定期的にメンテナンスを行う

メンテナンスウィザードを使って、ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、プログラムをより速く実行するデフラグ、ハードディスクの空き容量をより多くするディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に実行させるようにできます。

設定されたシステムツールは、「マイコンピュータ」の「タスク」フォルダに登録されます。ここで、登録された日時や曜日は後で変更することができます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

98/95 ●スキャンディスク、デフラグを使って定期的にメンテナンスを行う

ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、ハードディスクを最適化するデフラグを使い、定期的にメンテナンスすることをおすすめします。

NT...● エラーチェックプログラムを使って定期的にメンテナンスを行う
エラーチェックプログラムを実行すると、ハードディスクの軽い障害
を修復することができます。定期的にエラーチェックを起動して、ハー
ドディスク上にエラーがないことを確認してください。

参照 「ハードディスクドライブ」(P.44)

● 改造をしない

システム管理者以外の方が、本機の改造や修理をしないでください。正
しい方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの
対象外となることがあります。

付 録

この章の内容

機能一覧	186
本機のお手入れ	190

機能一覧

型番の読み方と機能仕様

① ② ③④ ⑤⑥⑦

PC-NF□□□C□□Z□□□

□の意味は次の通りです。

① CPUのクロック周波数を表しています。

30:300AMHz

② CPUの種類を表しています。

H:Celeron™プロセッサ

③ ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

5 : 15インチCRTディスプレイ (DV15A1)

7 : 17インチCRTディスプレイ (DV17B1)

F : 15インチ液晶ディスプレイ (F15T1)

G : 15インチ広視野角TFT液晶ディスプレイ (F15S1W)

H : 14.1インチ液晶ディスプレイ (F14T2H)

J : 14.1インチ広視野角TFT液晶ディスプレイ (F14S1W)

E : 18インチ広視野角TFT液晶ディスプレイ (F18S1W)

Z : なし

④ 選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

A : Windows 95のみ

X : Windows 95+ESMPROクライアントライセンス

B : Windows NT 4.0のみ

Y : Windows NT 4.0+ESMPROクライアントライセンス

T : Windows 98のみ

N : Windows 98+ESMPROクライアントライセンス

⑤ メモリの容量を表しています。

A : 32MB B : 64MB C : 96MB

⑥ハードディスクの容量を表しています。

3：約3GB

⑦管理番号を表しています。

上記①～⑥の一部の変更により、型番の変更で表現できない場合のために使用しています。

1、2、3と増えていきます。



チェック!!

①～⑦は、今後数字・記号が増えることがあります。

この場合は、通常『補足ガイド』が添付されていますので、『はじめにお読みください』を確認の上、本書と併せてお読みください。

また、上記①～⑥のすべての組合せが実現できているわけではありません。

仕様一覧

NF30H/C本体機能仕様

※型番・型名の□のところは、「型番の読み方と機能仕様」をご覧ください。
ディスプレイ、メモリは、ご使用のモデルによって異なります。

型番	PC-NF30HC□□Z□33	
型名	NF30H/C□model□Z□33	
CPU	内蔵キャッシュメモリ	Celeron™プロセッサ クロック300AMHz
	システムバス	32KB
メモリ	セカンドキャッシュメモリ	66MHz
	BIOS ROM (Flash ROM)	128KB (CPU内蔵)
	メインRAM	512KB、プラグ&プレイ対応
	ビデオRAM	標準32MB/64MB/96MB (SDRAM-DIMM) 最大256MB DIMMスロット×2
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	4MB (SDRAM)
	グラフィック表示	ATI Technologies社製RAGEIIC™搭載 (ビデオ/3Dアクセラレーション機能搭載)
サウンド機能	640×480ドット	最大1,677万色
	800×600ドット	最大1,677万色
サウンド機能	1,024×768ドット	最大1,677万色
	1,280×1,024ドット	最大1,677万色
補助記憶装置	ハードディスクドライブ	YAMAHA社製YMF740搭載 PCM録音再生機能内蔵 (ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート 11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重対応 (モノラル、量子化8ビット時)、内蔵モノラルスピーカ装備
	出荷時ソフト	内蔵 (3.2GB) Ultra-DMA対応、SMART機能対応
	占有量	アプリケーションなしモデル:約700MB、ESMPROモデル:約700MB
	占有量	アプリケーションなしモデル:約490MB、ESMPROモデル:約490MB
インタフェース	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインタフェース)、ミニD-sub15ピン
	シリアルコネクタ	最大11,520bps、D-sub9ピン
	パラレルコネクタ	D-sub25ピン
	USB	2 (本体正面×1、本体背面×1)
サウンド関連	入 力	マイク入力:モノラル、ミニジャック、供給電源2.5V、マイク出力インピーダンス600Ω、マイク感度-48db
	出 力	ヘッドホン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)
	出 力	ライン出力:ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47KΩ)
	LAN	RJ45 (100BASE-TX/10BASE-T) LANコネクタ、リモートパワーオン機能
入力関連	USBキーボード (バス/ワードハブ付き) の場合	本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続
	小型USBキーボードの場合	本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続
	PS/2接続キーボードの場合	本体PS/2接続キーボードコネクタに接続、マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続
	PS/2接続キーボードの場合	本体PS/2接続キーボードコネクタに接続、マウスはPS/2接続マウスコネクタに接続
PCIスロット	1 [ハーフサイズ×1]	
ファイルベイ	3.5インチベイ	
カレンダー時計	電池によるバックアップ	
運用管理	障害管理機能	SMART機能、温度監視、電圧監視、CPU・電源ファン監視、プリブートマネジメント
	セキュリティ機能	BIOS LOCK (スーパーバイザパスワード、ユーザパスワード/スマートカード)、セキュリティロック、ルーフカバーオープン検知、プリブートロック、I/Oロック
	メンテナンス機能	デスクトップ管理ソフトウェア「DMITool」「pcANYWHERE32 EX」標準添付、ESMPROクライアントライセンス (モデル構成により異なります)
	電源	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応
環境条件	温湿度条件	10～35℃、20～80% (但し結露しないこと)
	消費電力	約28W (最大約103W)
消費電力	スタンバイ (サスペンド) 状態時	約21W
	エネルギー消費効率	22W

外形寸法	本体	306 (H) × 320 (D) × 86 (W) mm (縦置き・スタビライザ含まず・ゴム脚含む) 306 (H) × 320 (D) × 161 (W) mm (縦置き・スタビライザ含む)
	キーボード	USB109キーボード 39 (H) × 178 (D) × 471 (W) mm
	キーボード	USB小型キーボード 40 (H) × 178 (D) × 370 (W) mm
	キーボード	PS/2 109キーボード 35 (H) × 169 (D) × 467 (W) mm
重量	本体	約5.7kg (スタビライザ含まず、ゴム脚含む) 約6.0kg (スタビライザ含む、ゴム脚含む)
	キーボード	USB109キーボード 約1.2Kg
	キーボード	USB小型キーボード 約980g
	キーボード	PS/2 109キーボード 約1.1kg

内蔵LANボード機能仕様

ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX : 100Mbps 10BASE-T : 10Mbps
伝送路	100BASE-TX : UTPカテゴリ5、10BASE-T : UTPカテゴリ3,4,5
信号伝送方式	ベースバンド方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/	100BASE-TX : 最大約200m/ステーション間
ネットワーク経路長 ※	10BASE-T : 最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※リピータの台数など、条件によって異なります。

本機のお手入れ

本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。

⚠ 注 意



感電注意

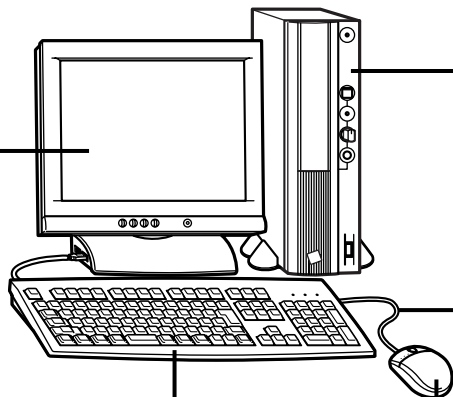
- お手入れの前には、本機の電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



発火注意

- 電源ケーブルのプラグにほこりがたまったままの状態、本機を使用しないでください。
電源ケーブルのプラグにほこりがたまったまま長い間清掃しないと、プラグのピンの中で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因となります。

ディスプレイ
布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。



パソコン

布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。
パソコンの内部
長時間使うと、ほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、購入元、NECに相談してください。
NECのお問い合わせ先→
『メンテナンス&サポートのご案内』
『NEC PCあんしんサポートガイド』

電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長時間ACコンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的に清掃してください。

キーボード

布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。
キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、購入元、NECに相談してください。
NECのお問い合わせ先→
『メンテナンス&サポートのご案内』
『NEC PCあんしんサポートガイド』

マウス

布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。
マウスの内部
マウスポインタの動きが悪いときは、ボールとローラーもクリーニングしてください。
→「マウスのクリーニング」（次ページ）



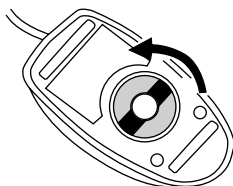
チェック!!

- ・水や中性洗剤は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や、科学そうきんは、使用しないでください。本機の外装をいためたり、故障の原因となります。

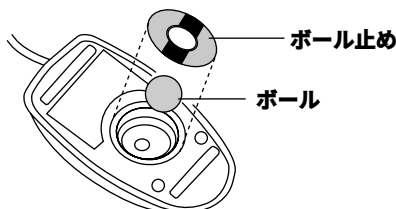
マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4～6の手順は省略してもかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



- 3 ボール止めを取りはずし、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで十分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります（このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などをつけないでください）。



8 ボールをマウスに戻す

9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定する



チェック!!

- ・クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
- ・クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにしてください。
- ・水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外装を傷めたり、故障の原因となったりします。
- ・ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。



このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

活用ガイド

PC98-**NX** シリーズ

NetFine NX

NF30H/C

初版 1998年11月

NEC

P